LG
Life's Good

取扱説明書

ネットワーク3D ブルーレイディスク™/DVDプレーヤー

このたびはLG製品をお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
ご理解のうえ正しくお使いください。お読みになったあとは
保証書と共に大切に保管してください。

BP620

http://www.lg.com/jp

安全にお使いいただくために

注意

**感電の危険あり
開けないでください**

注意: 感電の危険性をなくすためにカバー (または裏面)を開けないでください。製品内部にはお客様ご自身で修理できる部品はございません。修理が必要な場合は、当社カスタマーセンター又は、ご購入店へご相談ください。

正三角形内の稲妻形矢印マークは機器内部の絶縁されていない危険な電圧により感電の危険があることを警告するものです。

正三角形内の「!」の表示は注意を促すマークで、本製品付属の取扱説明書に、操作や補修での重要な指示が記載されていることを示しています。

警告: 火災や感電を防止するため、本製品を雨や湿気にさらさないでください。

警告: 本機を本棚などの狭い場所に設置しないでください。

注意: 開口部を塞がないでください。
製造メーカーの指示に従って設置してください。キャビネットの溝や開口部は、本製品が正常に動作し、過熱を防止するためのものです。本製品をベッドやソファー、カーペットなどの上に置いて、開口部を絶対に塞がないでください。適切な換気があり、製造メーカーの指示が守られている場所でない限り、本製品を備え付けの本棚やラックに置かないでください。

注意: 開く際、クラス1の可視、不可視レーザー光線が照射されています。光学器具で直接見ないでください。

ここに規定された以外の手順による操作や調整を行うと、危険なレーザー放射にさらされる可能性があります。

**クラス1 レーザー製品
光学器具で直接ビームを
見ないでください。**

電源コンセントに関するご注意

電源コンセントの定格負荷を超える使い方はしないでください。電源コンセントの過負荷、ゆるくて損傷している電源コンセント、延長コード、擦り切れた電源コード、絶縁体がひび割れ損傷したコードを使用するのは危険です。いずれの場合も、感電や火災の原因になります。機器の電源コードは定期的に点検し、破損や劣化がある場合はコンセントからコードを抜き、製品のご使用を中止し、当社カスタマーサポートセンターへご相談ください。電源コードは、曲げたり、ねじったり、締めつけたり、ドアを閉める際に挟んだり、踏みつけるなど、物理的や機械的に不適切な使用をしないように注意してください。プラグや電源コンセント、製品本体のコード接続部分は特に注意してください。主電源を切る場合は、本体の電源プラグを抜いてください。本製品を設置の際は、近くにコンセントがあることを確認してください。

本体が電源コンセントに接続されているときは、本体の電源スイッチを切っても、電源は接続状態になっています。

本機は主電源プラグを遮断装置として使用しております。主電源コンセントの近くに設置し、遮断装置へ容易に手が届くようにして下さい。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI) の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビ受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。 取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

注意

- 3D映像の視聴中に目の疲労、疲れ、気分が悪くなるなどの不快な症状が出ることがあります。3D映像を視聴するときは、定期的に休憩をとることをおすすめします。
- 不快な症状が出たときは、回復するまで3D映像の視聴をやめて、必要に応じて医師にご相談ください。
- 3D映像を視聴する際には、本機に接続する機器やブルーレイディスクの取扱説明書やご注意などもあわせてご覧ください。
- お子様の3D視聴は、保護者と一緒に視聴するようにしてください。
  5歳以下のお子様の3D視聴については、視覚発達段階にあるため、必要に応じて医師にご相談ください。

著作権に関するご注意

- ブルーレイディスクフォーマットの規格は、著作権保護技術である AACS (AdvancedAccess Content System) に承認されているため、DVD フォーマットでの CSS (ContentScramble System) と同様、AACS で保護されたコンテンツの再生やアナログ信号出力などに特定の制限が課せられています。本製品の生産後にAACS により承認か変更、またはその両方が行われる可能性があるため、お客様の購入時期により製品の動作や制限が異なります。
- また、ブルーレイディスク フォーマットの著作権保護技術として BD-ROM Mark や BD+ も採用されており、BD-ROM Mark か BD+、またはその両方にて保護されたコンテンツでは、再生制限などの特定の制限が課せられています。AACS、BD-ROM Mark、BD+、または本製品に関する詳細については、カスタマーサービスセンターにお問い合わせください。
- BD-ROM や DVD ディスクの多数が複製防止のために暗号化されています。
  このためプレーヤーは、直接テレビと接続し、ビデオは接続しないでください。ビデオに接続すると、不正コピー防止機能のディスクで画像が乱れる原因となります。
- 本製品は、米国特許及び他の知的財産権によって保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用にはRovi Corporationによる認可が必要であり、Rovi Corporationの認可なしでは、一般家庭用または用途の限られた視聴のみに使用されるようになっています。解析や分解は禁止されています。
- 米国著作権法およびその他の国の著作権法の下で、無断で録音・録画、利用、展示、頒布をすること、またテレビ番組、ビデオテープ、BD-ROM ディスク、DVD、CD やその他の媒体の編集をすることは、民事や刑事責任またはその両方を科せられる場合があります。

目次

1 はじめに

2 接続

3 システムの設定

4 操作

5 トラブルシューティング

6 付属品

1

はじめに

はじめに

再生可能なディスク、およびこの取扱説明書で使用される記号

メディア/用語	ロゴ	記号	説明
Blu-ray	Blu-ray Disc™ Blu-ray 3D™ Blu-ray 3D™ 3D ONLY	BD	• 販売やレンタルされている映画などのディスク • 「Blu-ray 3D」ディスクおよび「Bluray 3D ONLY」ディスク • BDAV形式で録画されているBD-R/REディスク
		MOVIE MUSIC PHOTO	• 映画、音楽、または写真ファイルが記録されたBD-R*1/REディスク • ISO 9660+JOLIET、UDF および UDF Bridge 形式
DVD-ROM DVD-R DVD-RW DVD+R DVD+RW (8 cm, 12 cm)	DVD VIDEO™ DVD R™ DVD RW™ RW DVD+R RW DVD+ReWritable	DVD	• 販売やレンタルされている映画などのディスク • ムービーモードで記録され、ファイナライズされているディスク • ２層式再生対応 • AVCREC フォーマットで記録された DVD-R/DVD-RW ディスク
		AVCHD	AVCHD 規格でファイナライズされているディスク
		MOVIE MUSIC PHOTO	• 映画、音楽、または写真ファイルが記録されたDVD±R ディスク • ISO 9660+JOLIET、UDF および UDF Bridge 形式
DVD-RW (VR) (8 cm, 12 cm)	DVD RW™	DVD	VRモードおよびファイナライズ済みのみ
Audio CD (8 cm, 12 cm)	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	ACD	オーディオCD
CD-R/RW (8 cm, 12 cm)	COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable ReWritable	MOVIE MUSIC PHOTO	• 音楽タイトル、映画、音楽、または写真ファイルが記録された CD-R/RW ディスク • ISO 9660+JOLIET、UDF および UDF Bridge 形式
注記	–	!	特定の注意と操作の特徴を示します
注意	–	⚠	乱暴な取り扱いによる故障を防ぐための注意を示します。

＊ 1 : LTHタイプも再生できます。

注意

- 記録装置の条件やCD-R/RW、DVD±R/RW、またはBD-R/REディスク自身がもつ機能に応じて、CD-R/RW、DVD±R/RW、またはBD-R/REディスクは本機では再生できないものがあります。
- ディスクが破損したり汚れ、または本機レンズ上の汚れや結露がある場合は、パーソナルPCやDVDまたはCDレコーダーを使用して記録されたBD-R/RE、DVD±R / RWおよびCD-R/RWディスクは再生できない場合があります。
- パソコンを使用してディスクを記録する場合は、それが互換性のある形式で記録されている場合でも再生できないことがあるケースがあります。(詳細については、ソフトウェアの発行元に確認してください。)
- 本機は、最適な再生品質を実現するために、一定の技術基準を満たす、ディスクや記録を必要とします。

「⊘」 記号の表示について

操作中でのテレビ画面に、「⊘」が表示されたときは、この取扱説明書で説明されている機能が、その特定のメディアで利用できないことを示しています。

ご注意

- BD-ROMは新しい形式ですので、特定のディスク、デジタル接続や他の互換性に関する問題がある可能性があります。互換性の問題が発生した場合は、カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
- 本機は、ピクチャインピクチャ、セカンダリオーディオおよび仮想パッケージなどのようなBD-ROMがサポートしているBONUSVIEW(BD-ROMのバージョン2プロファイル1バージョン1.1)を楽しむことができます。セカンダリビデオとオーディオは、ピクチャインピクチャ機能に対応し、ディスクから再生することができます。再生方法については、ディスクの説明をご参照ください。
- 高精細コンテンツの表示と標準的なDVDコンテンツをアップコンバートするには、HDMI対応の入力またはお使いのディスプレイデバイス上のHDCP対応DVI入力が必要な場合があります。
- BD-ROMやDVDディスクには、いくつかの操作コマンドや機能の使用を制限するものがあります。
- 本機の音声出力でHDMI接続を使用する場合は、DolbyTrueHD、Dolby Digital PlusやDTS-HDは、最大7.1チャンネルでサポートされています。
- ダウンロードのオンラインコンテンツを含むディスクに関連する情報を格納するためにUSBデバイスを使用することができます。使用しているディスクにより、情報の保持時間がコントロールされます。

ファイルの要件

動画ファイル

ファイル場所	ファイル拡張子	Codec形式	Audio 形式	字幕
ディスク、USB	.avi, .divx, .mpg, .mpeg, .mkv, .mp4, .asf, .wmv, .m4v (DRM フリー), .vob, .3gp	DIVX3.xx, DIVX4.xx, DIVX5.xx, DIVX6.xx (標準再生のみ), XVID, MPEG1 SS, H.264/MPEG-4 AVC, MPEG2 PS, MPEG2 TS, VC-1 SM (WMV3)	Dolby Digital, DTS, MP3, WMA, AAC, AC3	SubRip (.srt / .txt), SAMI (.smi), SubStation Alpha (.ssa/.txt), MicroDVD (.sub/.txt), VobSub (.sub), SubViewer 1.0 (.sub), SubViewer 2.0 (.sub/.txt), TMPlayer (.txt), DVD Subtitle System (.txt)
DLNA	.avi, .divx, .mpg, .mpeg, .mkv, .mp4, .asf, .wmv, .m4v (DRM フリー)	DIVX3.xx, DIVX4.xx, DIVX5.xx, DIVX6.xx (標準再生のみ) XVID, MPEG1 SS, H.264/MPEG-4 AVC, MPEG2 PS, MPEG2 TS, VC-1 SM (WMV3)	Dolby Digital, DTS, MP3, WMA, AAC, AC3	SubRip (.srt / .txt), SAMI (.smi), SubStation Alpha (.ssa/.txt), MicroDVD (.sub/.txt), SubViewer 1.0 (.sub), SubViewer 2.0 (.sub/.txt), TMPlayer (.txt), DVD Subtitle System (.txt)

音楽ファイル

ファイル場所	ファイル拡張子	サンプリング周波数	ビットレート	ご注意
ディスク、USB	mp3, .wma, .wav, .m4a (DRM フリー), .flac	32 - 48 kHz (WMA) の範囲内、16 - 48 kHz (MP3)の範囲内	32 - 192 kbps (WMA)の範囲内、32 - 320 kbps (MP3)の範囲内	WAV ファイルの中には、本機でサポートされないものもあります。
DLNA	mp3, .wma, .wav, .m4a (DRM free)	32 - 48 kHz (WMA) の範囲内、16 - 48 kHz (MP3)の範囲内	32 - 192 kbps (WMA)の範囲内、32 - 320 kbps (MP3)の範囲内	WAV ファイルの中には、本機でサポートされないものもあります。

写真ファイル

ファイル場所	ファイル拡張子	推奨サイズ	ご注意
ディスク、USB、DLNA、	.jpg, .jpeg, .png, .gif	4000 x 3000 ピクセル/24 ビット未満、 3000 x 3000 ピクセル/32 ビット未満	プログレッシブと可逆圧縮（ロスレス圧縮）の写真ファイルには対応していません。

• Macintosh版の付属のバンドルDLNAサーバーは、ASF、WMAとWMVのように、ファイルの互換性に制限があります。

注意

- ファイル名は180文字に制限されています。
- 最大ファイル/フォルダ：2000未満（ファイルとフォルダの合計数）
- ファイルのサイズと数に応じて、メディア上の内容を読み取るには、数分かかる場合があります。
- ファイルの互換性は、サーバーによって異なる場合があります。
- DLNAサーバー上で互換性がバンドルDLNAサーバー（Nero MediaHomeの4 EssentialsのWindows版）環境では、ファイルの要件と再生機能でテストされているため、メディアサーバーによって異なる場合があります。
- 8ページのファイルの要件には、常に互換性があるわけではありません。ファイルの特徴によっていくつかの制約がある場合があります。
- 再生中の動画の字幕ファイルは、同梱のNero MediaHome4 Essentialsソフトウェアによって作成されたDLNAメディアサーバーでのみ入手できます。
- メディアサーバー上でUSBドライブ、DVDドライブなどようなリムーバブルメディアではファイルが適切に共有することはできません。
- 本機は、MP3ファイルが埋め込まれたID3タグをサポートすることはできません。
- 画面に表示されているオーディオファイルの総再生時間が、VBRファイルでは正しくない可能性があります。
- CD / DVDまたはUSB 1.0/1.1に含まれるHDムービーファイルが正しく再生されない場合があります。HDムービーファイルの再生については、ブルーレイディスクまたはUSB 2.0をお勧めします。
- 本機はレベル4.1で、H.264/MPEG-4 AVCのプロファイルを主にサポートしています。より高いレベルを持つファイルの場合は、警告メッセージが画面に表示されます。
- 本機は、GMC*1またはQPEL*2で記録されているファイルをサポートしていません。

  * 1：GMC - グローバル動き補償

  * 2：QPEL - クォーターピクセル

注意

- 「WMV 9コーデック」でエンコードされた「AVI」ファイルはサポートされていません。
- Unicodeの字幕の内容が含まれている場合でも、本機は、UTF-8ファイルをサポートしています。本機は、純粋なUnicodeの字幕ファイルをサポートすることはできません。
- ファイルの種類や記録の方法に応じて、再生できない場合があります。
- 通常のPC上のマルチセッションで記録されたディスクは、本機でサポートされていません。
- ムービーファイルを再生するためには、ムービーファイルの名前と字幕ファイルの名前は同じでなければなりません。
- ビデオコーデックがMPEG2のTSまたはMPEG2 PSである場合、字幕は再生されません。
- 画面に表示されている音楽ファイルの総再生時間が、VBRファイルでは正しくない可能性があります。

AVCHD規格 (AdvancedVideo Codec HighDefinition)

- 本機は、AVCHD規格で記録されたディスクを再生できます。このディスクは通常ビデオカメラの録画に使用されます。
- AVCHD 規格は、ハイビジョンデジタルビデオカメラの記録方式です。
- MPEG-4 AVC/H.264 フォーマットは、従来の画像圧縮方式に比べ、さらに高い圧縮率で画像を圧縮することができます。
- 本機は、「x.v.Color」規格を採用しているAVCHD ディスクを再生できます。
- 記録状態によっては、再生できない AVCHD規格のディスクもあります。
- AVCHD 規格のディスクは、ファイナライズする必要があります。
- 「x.v.Color」は、通常の DVD ビデオカメラのディスクと比べ広い色域を提供できます。

DLNAについて

本機は、DLNA認定のデジタル メディアプレーヤーです。DLNA対応のデジタル メディアサーバー（パソコンおよび家電機器）から映画、写真、音楽を表示および再生することができます。

Digital Living Network Alliance（DLNA）は、AV家電機器や、パソコン・周辺機器、モバイル機器などのメーカーにより結成された業界団体です。DLNAによってホームネットワークを介して保存してあるコンテンツを容易に共有することができます。

DLNAから機器認証を受けた機器はDLNAロゴ使用することができ、DLNAが定めたガイドラインに従っている機器間は容易にお互いを認識することができます。本機は、DLAN1.5（Ver.1.5のガイドライン）に従っています。

本機にDLNA対応機器が接続されている場合、ソフトウェアまたは本機以外の機器の設定変更が必要になることがあります。詳細については、取扱説明書などをご参照ください。

注意

- DLNA認定サーバー（レコーダーなど）が公開している動画で、本機が対応しているファイル形式のコンテンツであっても再生出来ない場合があります。
- DLNA認定サーバー（レコーダーなど）が公開している動画の一時停止(II)、早戻し（◀◀)、早送り(▶▶)や早送り再生の操作には対応していません。

必要なシステム環境

高精細映像を再生するには：

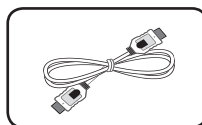
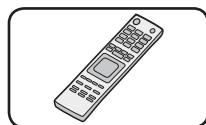
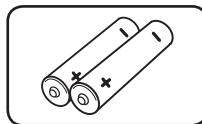
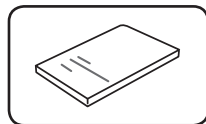
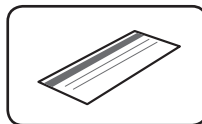
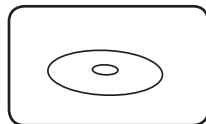
- HDMI入力端子に対応した高解像度ディスプレイ。
- 高解像度コンテンツを収録した BD-ROM ディスク。
- コンテンツによっては、HDMI または HDCP対応 DVI 入力端子に対応したディスプレイ機器が必要な場合があります（ディスク作成者により指定されています）。

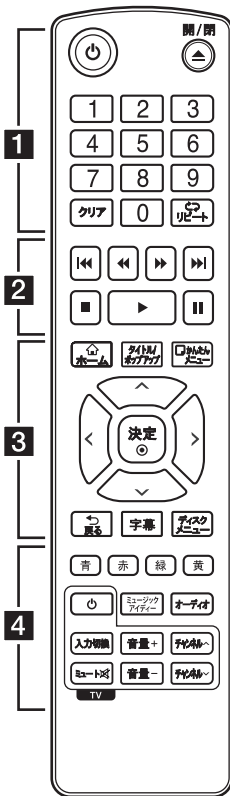
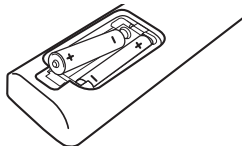
ドルビーデジタルプラス、ドルビー TrueHD、DTS-HD などのマルチチャンネルオーディオの再生には：

- デコーダー（ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス、ドルビーTrue HD、DTS、DTS-HD）を搭載したアンプやレシーバー。
- 選択したオーディオフォーマットに対応した+D20メインスピーカー、センタースピーカー、サラウンドスピーカー、およびサブウーファーが必要です。

リージョンコード

本機の背面には、リージョンコードが印刷されています。本機では、背面に印刷されたラベルと同じリージョンコード、またはリージョンコード「ALL」のBD-ROM、DVD ディスクのみ再生することができます。

付属品

HDMIケーブル

リモコン (1個)

乾電池 (単4形 2本)

取扱説明書（本書）（1部）

保証書（1部）

Nero MediaHome4 Essentials ソフトウェア CD-ROM (1枚)

リモコン

電池を入れる

リモコンの裏にある電池カバーを取り外し、2 本の単4形乾電池(R03/AAA)を、⊕ と ⊖ の向きを正しく合わせて挿入します。

• • • • • • • • 1 • • • • • • •

⏻ **(電源):** 本機の電源をオン/オフします。

⏏ **(開/閉):** ディスクトレイの開/閉をします。

0〜9 番号ボタン: メニューの項目番号を選択します。

クリア: 検索メニューのマークや設定したパスワードの番号を解除します。

リピート(🔁): 選択したセクションやシーケンスを繰り返し再生します。

• • • • • • • • 2 • • • • • • •

◀◀ / ▶▶ (巻戻し/早送り): 早送り/早戻しをします。

I◀◀ / ▶▶I (スキップ): 前や次のチャプター/トラック/ファイルに進みます。

■ (停止): 動作を停止します。

▶ (再生): 再生を開始します。

II (一時停止): 再生を一時停止します。

• • • • • • • • 3 • • • • • • •

ホーム (🏠): [ホームメニュー]を表示/終了します。

タイトル/ポップアップ: DVD のタイトルメニューや BD-ROM にポップアップメニューがある場合は表示します。

かんたんメニュー(□): 再生する映像を表示/終了します。

方向ボタン: メニューの項目を選択します。

決定(⦿): 選択したメニューを決定します。

戻る (↩): メニューの終了または前の画面に戻ります。

字幕: 字幕の言語を選択します。

ディスクメニュー: ディスクのメニューを表示します。

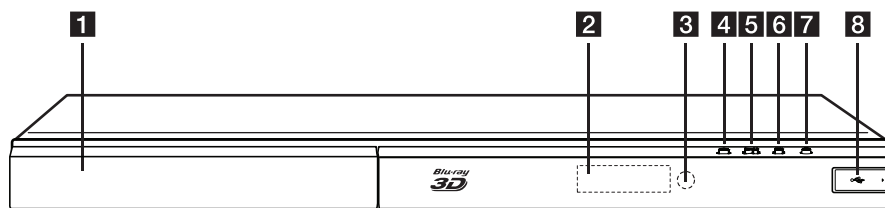
• • • • • • • • 4 • • • • • • •

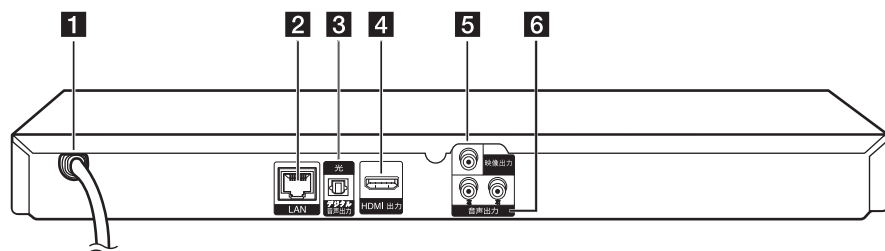
カラー (青, 赤, 緑, 黄) ボタン: BD-ROMメニューの操作に使用します。[動画]、[写真]、[音楽]、[プレミアム] メニューの操作にも使用します。

音楽 ID: ネットワークに接続すると、現在再生中の動画で流れている音楽の情報を表示します。

オーディオ: 音声言語や音声チャンネルを選択します。

TV コントロールボタン: 50 ページをご覧下さい。

本体前面

1 ディスクトレイ
2 表示ディスプレイ
3 リモコン受信部
4 ⏏ (開/閉)
5 ►II (一時停止)
6 ■ (停止)
7 ⏻ (電源)
8 USB端子

本体後面

1 AC 電源コード
2 LAN ポート
3 デジタル音声出力 (光) 端子
4 HDMI 出力
5 ビデオ出力
6 2チャンネル音声出力 (左/右)

テレビへ接続する

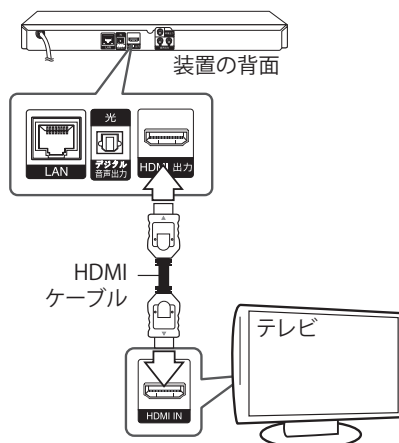
お持ちの機器の対応を確認し、以下の接続方法から一つだけ行ってください。

- HDMIの接続(13ページ)
- 映像/オーディオ（左/右）の接続(14ページ)

注意

- お持ちの機器と様々な方法で本機と接続できますが、本書に記載されている接続方法のいずれか 1 つのみを使用してください。
- 最高の接続品質のために必要に応じてお使いのテレビ、オーディオシステム、または他の機器の取扱説明書をご参照ください。
- 本機の音声出力端子をお使いのオーディオ機器（録音機器）のRCA入力端子に接続しないでください。
- ビデオデッキを経由して本機を接続しないでください。コピー防止システムによって画像が歪むことがあります。

HDMI の接続

HDMI入力端子対応のテレビやモニターをお持ちの場合、同梱のHDMIケーブル（Aタイプ、High Speed HDMIケーブル）を使用して本機に接続することができます。

テレビの入力切換を HDMI に設定します（テレビの取扱説明書をご参照ください）。

HDMI 接続でのご注意

- HDMI や DVI 対応の機器に接続する場合は、以下のことを確認してください。
  - まず本機と HDMI/DVI 機器の電源を切ります。次に、HDMI/DVI 機器の電源を入れ、30 秒ほど待ってから本機の電源を入れます。
  - 接続した機器の映像入力が、正しく本機に設定されているか確認します。
  - 接続する機器は、720x480p、1280x720p、1920x1080i、1920x1080p の解像度の映像入力に対応している必要があります。
- HDCP 対応の HDMI や DVI 機器のすべてが本機に対応しているわけではありません。
  - HDCP 対応機器以外では、画像が正しく表示されない場合があります。

注意

- 接続されたHDMI対応機器が本機の音声出力に対応しない場合、HDMI対応機器の音声が歪むか、出力されない場合があります。
- HDMI接続を使用するときは、HDMI出力の解像度を変更することができます。（15ページの「解像度の設定」をご参照ください）。
- [設定]メニューの[HDMIカラー設定]オプションを使ってHDMI出力端子の映像出力タイプを選択します。（ 26ページを参照）
- 本機と他の機器を接続した後、解像度を変更すると誤作動の原因になります。この問題を解決するのは、本機の電源をオフにしてから再度電源をオンにします。
- HDCP対応のHDMI接続が確認されていない場合、テレビ画面が黒画面になります。この場合、HDMI接続を確認するか、またはHDMIケーブルを外します。
- 画面上にノイズや線が現れる場合は、HDMIケーブル（長さは一般的に4.5メートル（15フィート）以内に制限）を確認してください。

SIMPLINKとは?

SIMPLINK

SIMPLINKロゴのあるHDMI-CECおよびARC（オーディオリターンチャンネル）対応のテレビをHDMIケーブルで本機に接続すると、テレビのリモコンで機器を操作することができます。SIMPLINKロゴがないHDMI-CEC対応のテレビには対応していない場合があります。

テレビのリモコンので操作できる本機の機能は、再生、一時停止、スキップ、停止、電源のオン/オフなどです。

SIMPLINK機能の詳細については、テレビの取扱説明書をご参照ください。

SIMPLINK機能に対応するテレビには、上記のロゴが表示されています。

注意

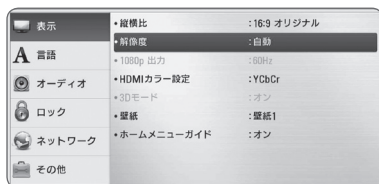
ディスクの種類や再生状況に応じて、いくつかのSIMPLINK操作は、作動しない可能性があります。

映像/音声 (左/右） の接続

ビデオケーブルを使用して、本機の 映像出力 端子をテレビの映像入力端子に接続します。オーディオケーブルを使用して、本機の 音声出力 端子の左と右を、テレビの音声入力端子の左と右に接続します。

解像度の設定

本機では、HDMI 出力からの映像を、さまざまな解像度にて出力することができます。
[設定]メニューを使って解像度を変更することができます。

1. ホーム (⌂) を押します。
2. </>を使って、[設定]を選択して決定(⦿)を押します。[設定]メニューが表示されます。
3. [表示] の項目を選択するために、Λ/V を使い、決定(⦿)を押して第 2 階層へと移動します。
4. [解像度] の項目を選択してから、Λ/V を使い、決定(⦿) を押して第 3 階層へと移動します。

5. Λ/Vでご希望の解像度を選択してから、決定(⦿)を押して設定を終了します。

注意

- お使いのテレビが、本機に設定されている解像度に対応しない場合は、次のように480pの解像度に設定することができます。
  1. ディスクトレイを開くには、⏏ を押します。
  2. ■ (停止)を5秒以上押します。
- HDMI接続で480iの解像度を設定すると、実際の解像度は480pとして出力されます。
- 手動で解像度を選択してからテレビとHDMI端子を接続した場合、お使いのテレビがそれに対応していないければ、解像度は[Auto]に設定されます。
- テレビが解像度に対応しない場合、警告メッセージが表示されます。画面を見ることができない場合は、解像度を変更したあと、20秒お待ちください。解像度は自動的に以前の解像度に戻ります。
- 1080p映像出力のフレームレートは、接続されているテレビの性能と容量、またBD-ROMに記録されている本来のフレームレートによって、自動的に24Hzか60HZのいずれかに設定されます。
- 映像出力端子の解像度は常に480iです。

アンプとの接続

お持ちの機器の対応を確認し、以下の接続方法で接続を行ってください。

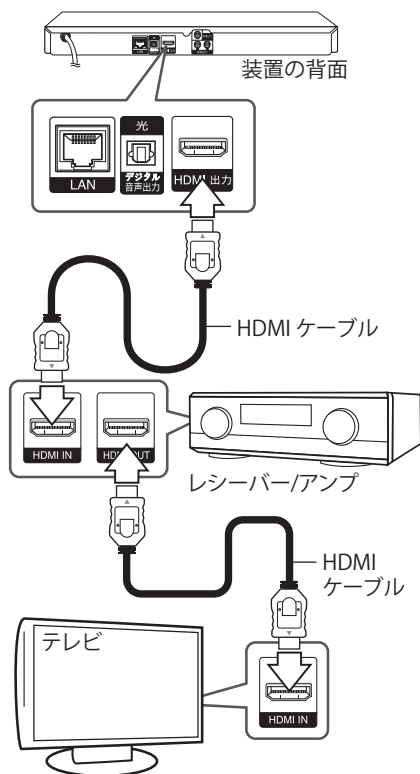
- HDMI オーディオの接続 (16ページ)
- デジタル音声の接続(17ページ)
- 2CHアナログ音声の接続 (17ページ)

オーディオ出力のタイプには多くの要素が影響するため、詳しくは「オーディオ出力の仕様」をご参照ください。(60 ページ)

デジタルマルチチャンネルサウンドについて

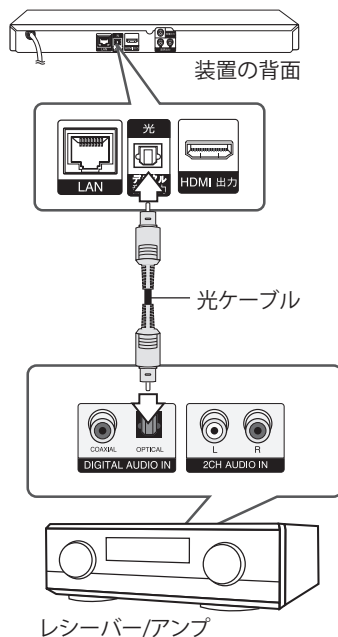
デジタルマルチチャンネルによる接続で、最高の音質でのサウンドをお楽しみいただけます。そのためには、本機が対応するオーディオフォーマットのうちの一つ以上に対応しているマルチチャンネル オーディオ/ビデオレシーバーが必要です。レシーバーの取扱説明書とレシーバー前面にあるロゴをご確認ください。(PCM ステレオ、PCM マルチチャンネル、ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス、ドルビーTrueHD、DTSおよび/またはDTS-HD)

HDMI 出力とアンプとを接続する

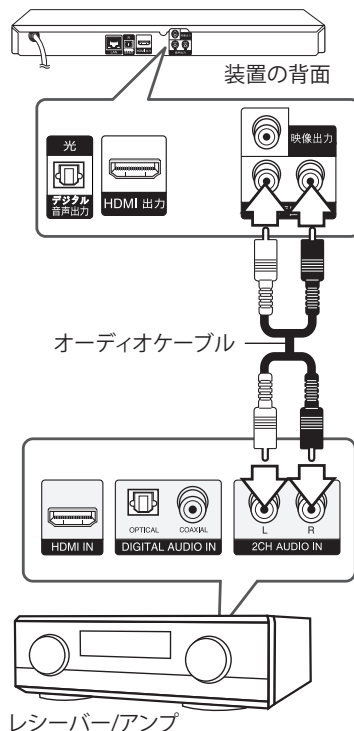
HDMI ケーブルを使って、本機のHDMI 出力端子と、お持ちのアンプの対応する端子とを接続してください。

お持ちのアンプにHDMI 出力端子が搭載されている場合は、HDMI ケーブルを使って、アンプのHDMI 出力端子をテレビのHDMI 入力端子に接続してください。

また本機のデジタル音声出力の設定をする必要があります。
（27ページの「[オーディオ]メニュー」をご参照ください）

デジタル音声出力端子とアンプとを接続する

プレーヤーのデジタル音声出力端子を、オプションのデジタルオーディオケーブルを使って、アンプの対応する端子 (光)に接続します。

また本機のデジタル音声出力の設定をする必要があります。
(27ページの「[オーディオ]メニュー」をご参照ください)

2チャンネル音声出力端子とアンプとを接続する

オーディオケーブル使用して、本機の音声出力端子の左と右を、お持ちのアンプ、レシーバー、またはステレオシステムのオーディオ端子の左と右に接続します。

ホームネットワークに接続する

本機は、背面パネル上のLANポート、または内部無線モジュールを経由して、ローカルエリアネットワーク(LAN)に接続することができます。
ブロードバンドのホームネットワークに接続することにより、ソフトウェアの更新やBD-Liveインタラクティブ、オンラインサービスなど、様々なサービス・コンテンツにアクセスすることができます。

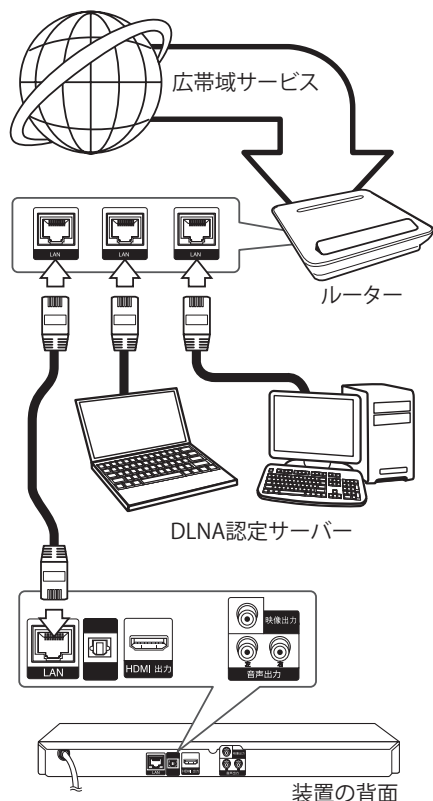
有線ネットワーク接続

有線ネットワークは無線周波数の干渉をうけず、機器を直接ネットワークに接続し、最高のネットワーク環境を提供します。

詳細については、ネットワーク機器の取扱説明書をご参照ください。

市販のLAN、またはイーサーネットケーブルでモデム、またはルータ上の対応するポートに本機のLANポートを接続します。

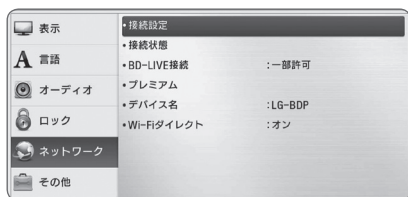
注意

- LANケーブルを抜き差しの際には、ケーブルのプラグの部分をつかんでください。抜くときは、ケーブルを引っ張らずロックを押しながら抜いてください。
- LANポートにモジュラー電話ケーブルを接続しないでください。
- DLNAサーバーからコンテンツにアクセスしたい場合、ルータを介して本機をそれらと同じローカルエリアネットワークに接続する必要があります。
- お持ちのパソコンをDLNAサーバーとして設定する場合は、パソコンと同梱されるNero MediaHome 4をインストールしてください。
（５２ページをご参照ください）

有線ネットワーク設定

DHCPサーバーが有線接続のローカルエリアネットワーク（LAN)上にある場合、IPアドレスが自動で割り当てられますが、場合によっては接続後にネットワーク設定が必要になることもあります。そのような場合は以下の手順で[ネットワーク]設定を行ってください。

準備事項

有線ネットワークを設定する前に、お客様のホームネットワークをブロードバンドインターネットに接続する必要があります。

1. [設定]メニューから[接続設定] オプションを選択して、決定(⦿)を押してください。

2. ネットワーク設定の準備事項を読んでから、[スタート]ボタンを選択して、決定(⦿)を押します。

ネットワークが、自動的に装置に接続されます。

詳細設定

手動でネットワーク設定を設定する場合は、[ネットワーク設定]メニューでΛ/V を使って[詳細設定]を選択してから、決定(⦿)を押します。

1. Λ/V を使って有線を選択してから、決定(⦿)を押します。

2. Λ/V/</>を使って[流動]、または[固定]のIPモードを選択します。

通常は、[流動]を選択してIPアドレスを自動的に設定します。

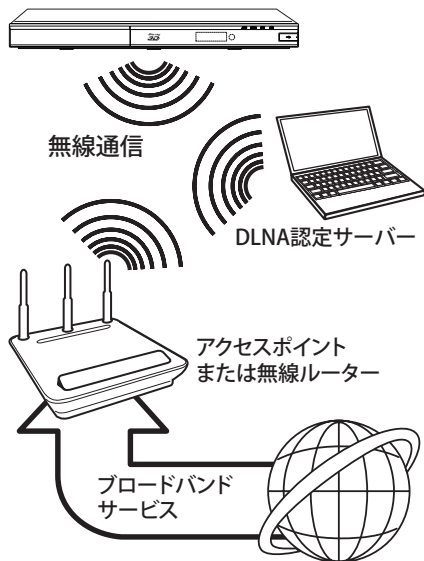
> **注意**
>
> ネットワーク上にDHCPサーバーがなくIPアドレスを手動で設定する場合は、[固定]を選択してから、Λ/V/</> と数字ボタンを使って[IPアドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイ]と[DNSサーバー]を設定します。数字を間違えて入力した場合は、ハイライトされた部分を取り消すために[取消]を押してください。

3. [次へ]を選択してから、決定(⦿)を押してネットワーク設定を行います。

自動でネットワークに接続されます。

4. [閉じる]がハイライトされているときに決定(⦿)を押して、有線ネットワーク設定を終了します。

無線ネットワーク接続

有線接続以外では、アクセスポイントまたは無線ルーターを使用する無線ネットワーク接続があります。ネットワーク設定および接続方法は、使用中の機器やネットワーク環境によって異なる場合があります。

接続手順およびネットワーク設定の詳細に関しては、アクセスポイント、または無線ルータと共に提供される取扱説明書をご参照ください。

無線ネットワークを使用する場合、お使いの電子機器が本機に影響を及ぼすことがありますのでご注意ください。

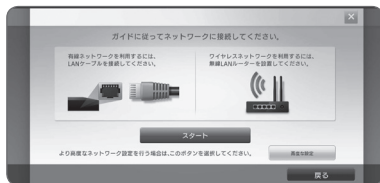
無線ネットワーク設定

無線ネットワーク接続の場合、本機をネットワーク通信用に設定する必要があります。この調整は、[設定]メニューから行うことができます。以下のように[ネットワーク]設定を調整します。アクセスポイント、または無線ルーターの設定は、ネットワークにプレーヤーを接続する前に行う必要があります。

準備事項

無線ネットワークを設定する前に、以下を行う必要があります。

- 無線ホームネットワークをブロードバンドインターネットに接続します。
- アクセスポイントまたはワイヤレスルーターを設定します。
- ネットワークのSSIDとセキュリティコードをメモしてください。

1. [設定]メニューから[接続設定] オプションを選択して、決定(◉)を押してください。
2. ネットワーク設定の準備事項を読んでから、[スタート]がハイライトされているときに 決定(◉)を押します。

LANケーブルが本機に接続されていない場合は、その他の接続可能なネットワークがすべて表示されます。

3. Λ/Vを使ってご希望の無線ネットワークのSSIDを選択してから決定(◉)を押してください。

アクセスポイントにセキュリティコードが設定されている場合、セキュリティコードを入力する必要があります。

注意

- WEPセキュリティモードには、一般にアクセスポイントの設定に使用できる4つのキーがあります。アクセスポイント、または無線ルーターがWEPセキュリティを使用する場合、ホームネットワークに接続するためにキー「1番」のセキュリティコードを入力します。
- アクセスポイントは、無線でホームネットワークに接続するための装置です。

4. Λ/V/</> で ［自動］ と ［固定］ どちらかの IP モードを選択します。通常は、［自動］ を選択して IP アドレスを自動的に設定します。

注意

ネットワーク上にDHCPサーバーがなくIPアドレスを手動で設定する場合は、[固定]を選択してから、Λ/V/</>と数字ボタンを使って[IPアドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイ]と[DNSサーバー]を設定します。数字を間違えて入力した場合は、ハイライトされた部分を取り消すために[取消]を押してください。

5. [次へ]を選択してから、決定(⦿)を押してネットワーク設定を行います。

ネットワーク接続状態が画面に表示され、設定を完了します。

詳細設定

手動でネットワーク設定を設定する場合は、[ネットワーク設定]メニューでΛ/V を使って[詳細設定]を選択してから、決定(⦿)を押します。

1. Λ/Vを使って[無線]を選択してから、決定(⦿)を押します。

[APリスト] - 範囲内のすべての利用可能なアクセスポイント、または無線ルーターをスキャンし、そのリストを表示します。

[ネットワーク名（SSID）]-アクセスポイントはネットワーク名（SSID）を表示しない場合があります。お使いのPCでアクセスポイントの設定を確認し、SSIDを表示するように設定するか、または[ネットワーク名（SSID）]に手動でネットワーク名を入力してください。

[PBC] - PBC（プッシュボタン設定）方法をサポートする無線ルータ、またはアクセスポイントは、このオプションを選択し120以下の数字でアクセスポイントのプッシュボタンを押してください。アクセスポイントのネットワーク名（SSID）とセキュリティコードを知っている必要はありません。

[PIN] - WPS（Wi-Fi保護設定）に基盤するPINコードの設定機能をサポートしているアクセスポイントは、このオプションを選択し、画面上のコード番号をメモしておきます。それから、接続するアクセスポイントの設定メニューでPIN番号を入力します。ネットワークデバイスのマニュアルをご参照ください。

2. 画面上の各接続方法の指示に従ってください。

注意

PBCとPINネットワーク接続を使用するには、アクセスポイントのセキュリティモードをOPEN、またはAESに設定する必要があります。

2 接続

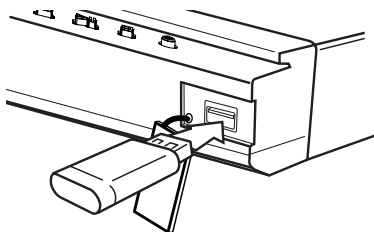
ネットワーク接続に関する注意事項：

- 多くの問題はルーターやモデムをリセットすることで解決できます。本機をホームネットワークに接続した後に、ホームネットワークのルーターまたはケーブルモデムの電源を切り、電源ケーブルを外してください。それから再度、電源ケーブルを差し、電源を入れ直してください。
- インターネットサービスプロバイダ(ISP)によっては、サービス条件が決められており、インターネットサービスに接続できる機器の数が限られている場合があります。詳細については、お使いのISP にお問い合わせください。
- 弊社は、ご利用のブロードバンド回線またはその他接続機器のエラーや故障による本機やネットワーク接続の性能不良についての一切の責任を負いません。
- 弊社では、インターネット接続機能からご利用できるBD-ROMディスク機能の作成や提供は行っておりません。また、それらの機能や将来の利用性などについての責任も負いません。インターネット接続でご利用可能なディスク関連のマテリアルの中には、本機と互換性のないものもあります。このようなコンテンツについてのご質問は、ディスクの製造メーカーにお問い合わせください。
- インターネットのコンテンツには、広帯域幅の接続が必要なものもあります。
- ネットワークが正しく設置されている場合でも、インターネットの利用環境やコンテンツプロバイダーの都合などにより正常に動作しない場合があります。
- ご契約されたインターネットサービスプロバイダー(ISP)で設定された制限により、インターネット接続の操作が正しくできない場合もあります。
- 接続料やその他ISP より請求される手数料は、すべてお客様のご負担となります。
- 10BASE-T または100BASE-TX でのLAN ポートの無線接続が本機には必要です。ご利用のインターネットサービスがこのような接続に対応していない場合は、本機との接続はできません。
- xDSL サービスをご利用になるには、ルーターが必要です。
- DSLサービスをご利用になるにはDSLモデムが必要です。またケーブルモデムサービスをご利用になるにはケーブルモデムが必要です。ご利用のISP のアクセス方法と契約内容によっては、本機に搭載されているインターネット接続の機能をご利用できなかったり、同時に接続できる機器の数が制限されている可能性もあります。(ご利用のISP の契約が1 台のみの接続に制限されている場合は、パソコンの接続中に本機を接続できない可能性があります)
- ルータの使用は許可されていないか、または、その使用量が、ISPのポリシーと制限に応じて制限される場合があります。詳細については、ISPに直接お問い合わせください。
- 詳細については、ISPに直接お問い合わせください。無線ネットワークは2.4 GHz帯の無線周波数で作動します。無線電話、ブルートゥース機器、電子レンジなどの他の家庭用機器も同じ周波数帯を使用し、無線ネットワークに干渉し影響を与える場合があります。
- 使用していないネットワーク機器は、電源を切っておいてください。不要なネットワークトラフィックが発生する場合があります。
- データ転送速度を向上させるために、本機をアクセスポイントに近い場所に設置することをお勧めします。
- 無線ネットワークのデータ通信速度は理想上の数値であり、アクセスポイントのタイプ、プレイヤーとアクセスポイントとの距離、設置場所などの要因により影響されます。
- アクセスポイント、または無線ルーターをインフラストラクチャモードに設定します。アドホックモードはサポートされません。

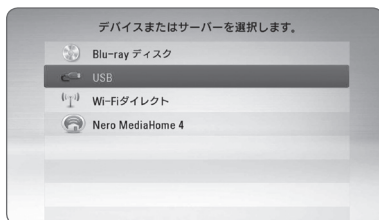
USB機器の接続

本機では、USB機器に記録された映画、音楽、および写真ファイルを再生できます。

USB機器のコンテンツの再生

1. USB機器をUSB端子にしっかり奥まで差し込みます。

USB機器をホームメニューから接続設定すると、USB機器に記録された音楽ファイルを自動的に再生します。USB機器に異なる類型のファイルが記録されている場合は、ファイルの種類を選択するメニューが表示されます。

USB 機器に保存されたコンテンツの数によっては、ファイルの読み込みに数分かかることがあります。読み込みを停止するには、[取り消し] を選択し、決定(⦿) を押してください。

2. ホーム (⌂) を押します。
3. </>で[動画]、[写真]、または[音楽]項目を選択してから、決定(⦿)を押します。
4. Λ/Vで [USB] 項目を選択してから、決定(⦿) を押します。

5. ファイルを再生するために Λ/V/</>で再生または決定(⦿)を押します。
6. 注意しながら、USB機器を取り外します。

注意

- 音楽、写真、映画ファイルにアクセスする場合、本機はFAT16、FAT32、およびNTFS形式のUSB フラッシュメモリーまたは外付けハードディスクに対応します。BD-Live やオーディオCD の記録を行う場合は、FAT16 とFAT32 形式のみに対応します。BD-Live やオーディオCD の記録を行う場合は、FAT16、FAT32 どちらかの形式にフォーマットされたUSB フラッシュメモリーまたは外付けのハードディスクを使ってください。
- USB機器は、インターネットでBD-Live のディスクを楽しむためのローカル記憶領域に使用することができます。
- 本機で対応できるUSB機器のパーティションの数は、最大4 つまでです。
- 再生などの操作中はUSB機器を取り外さないでください。
- パソコンに接続すると追加プログラムのインストールが必要となるUSB機器には対応していません。
- USB機器はUSB1.1 およびUSB2.0 のものに対応しています。
- 映画、音楽、および写真ファイルを再生できます。各ファイルの操作についての詳細は、それぞれの関連ページをご参照ください。
- データの損失を避けるために、定期的なバックアップをお勧めします。
- USB 延長ケーブル、USB ハブ、またはUSBMulti-readerを使用すると、USB機器が認識されない可能性があります。
- 本機では作動しないUSB機器もあります。
- デジタルカメラや携帯電話からのコンテンツ再生はできません。
- 本機のUSB端子とPCを接続することはできません。本機をストレージデバイスとして使用することはできません。

設定

初期設定

初めて電源をオンにすると､初期セットアップウィザードが画面に表示されます｡初期セットアップウィザードの表示言語およびネットワーク設定を行います。

1. ⏻(テレビ 電源)を押します。

   初期セットアップウィザードが画面に表示されます。

2. Λ/V/</> を使って表示言語を選択し、決定(⦿)を押します。

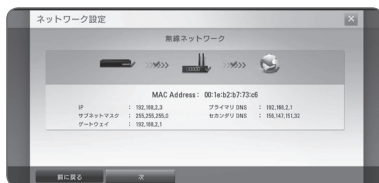
3. ネットワーク設定の準備事項を読んで準備した後、[スタート]がハイライトされているときに決定(⦿)を押します。

   有線ネットワークが接続されている場合は、ネットワーク接続の設定は自動的に終了されます。

4. 利用可能なネットワークがすべて画面に表示されます。 Λ/V を使って[有線ネットワーク]、またはご希望の無線ネットワークSSIDを選択してから、決定(⦿)を押します。

   アクセスポイントにセキュリティコードが設定されている場合、セキュリティコードを入力する必要があります。

5. Λ/V/</> を使って[流動]と[固定]のどちらかのIPモードを選択してください。通常は、[流動]を選択してIPアドレスを自動的に設定します。

6. [次へ]を選択してから、決定(⦿)を押してネットワーク設定を適用します。

   ネットワーク接続状態が画面に表示されます。

   ネットワーク設定の詳細については、18ページ上の「お客様のホームネットワークへの接続」をご参照ください。

7. 前の手順で設定したすべての設定を確認してください。

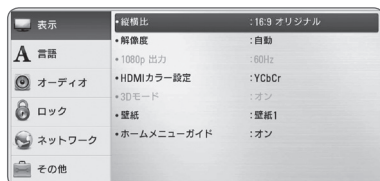
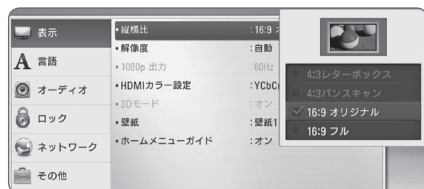
   初期設定の設定を完了するために[完了]がハイライトされているときに決定(⦿)を押します。変更したい任意の設定がある場合、</> を使って[戻る]を選択し、決定(⦿)を押します。

セットアップ設定の調整

[設定]メニューで本機の設定を変更することができます。

1. ホーム (🏠) を押します。

2. </> で[設定]を選択して決定(⦿)を押します。[設定]メニューが表示されます。

3. ∧ / ∨ で最初の設定項目を選択してから、決定(⦿)を押して第2 階層へと移動します。

4. ∧ / ∨ で第2階層の設定項目を選択してから、決定(⦿)を押して第3 階層へと移動します。

5. ∧ / ∨ で希望する設定を選択してから、決定(⦿)を押して設定を終了します。

[表示]メニュー

縦横比

お持ちのテレビのタイプに対応する、テレビの縦横比項目を選択してください。

[4:3レターボックス]

4:3 のアスペクト比である従来サイズのテレビが接続されている場合に選択します。ワイドスクリーンの画像では、上下に黒帯が付いた状態で映像を表示します。

[4:3パンスキャン]

4:3 のアスペクト比である従来サイズのテレビが接続されている場合に選択します。ワイドスクリーンの画像では、テレビ画面に映像が収まるように映像の両側が切り落とされて表示されます。

[16:9オリジナル】

16:9 のアスペクト比であるテレビが接続されている場合に選択します。4:3 の映像では左右の両側に黒帯が付いた状態で、オリジナルの4:3 アスペクト比で表示されます。

[フル16:9]

16:9 のアスペクト比であるテレビが接続されている場合に選択します。4:3 の映像は、テレビ画面の全体に合わせるために水平方向(左右)に引き伸ばされます。解像度が720p 以上に設定されている場合は、[4:3レターボックス]と[4:3パンスキャン]の項目は選択できません。

注意

解像度が720p以上に設定されている際は、[4:3レターボックス]と、[4:3パンスキャン]のオプションを選択できません。

解像度

HDMI の映像信号の出力解像度を設定します。解像度設定についての詳細は、15ページをご参照ください。

[自動]

HDMI 出力端子が、ディスプレイの基本情報を提供するテレビ（EDID）に接続されていると、接続されているテレビに最適な解像度を自動的に選択します。

[1080p]

1080 本のプログレッシブ（順次走査）映像出力です。

[1080i]

1080 本のインターレース（飛び越し走査）映像出力です。

[720p]

720 本のプログレッシブ（順次走査）映像出力です。

[480p]

480 本のプログレッシブ（順次走査）映像出力です。

[480i]

480 本のインターレース（飛び越し走査）映像出力です。

1080pモード出力

解像度を 1080p に設定した場合、1080p/24 Hz 入力に対応した HDMI 端子のあるディスプレイで映画のフィルム映像（1080p/24 Hz）をスムーズに表示するには、[24 Hz] を選択します。

注意

- [24Hz]を選択した場合、映像の切り替えの際に、画像の乱れが発生することがあります。このような場合は、[60Hz]に変更してください。
- [1080ディスプレイモード]が[24 Hz]に設定されている際、お使いのテレビに互換性がない場合であっても、1080p/24 Hz の映像出力の実際のフレーム周波数は、映像元のフォーマットに一致します。

HDMIカラー設定

HDMI 出力 端子からの出力の種類を選択してください。この設定については、お持ちのディスプレイ機器の取扱説明書をご参照ください。

[YCbCr]

HDMI 対応のディスプレイ機器への接続時に選択します。

[RGB]

DVI ディスプレイ機器への接続時に選択します。

3D モード

ブルーレイ 3Dディスク再生の出力モードタイプを選択してください。

[オフ]

通常のBD-ROMディスク再生のように
ブルーレイ 3Dディスク再生が2Dモードを出力します。

[オン]

ブルーレイ3Dディスク再生は3Dモードとして出力します。

壁紙

初期画面の背景を変更します。

ホームメニューガイド

この機能を使用すると、ホームメニューのガイドバブルを表示したり、削除することができます。ガイドを表示する場合はこのオプションを[オン]に設定します。

[言語] メニュー

表示メニュー

[設定]メニューとオンスクリーンディスプレイの言語を選択します。

ディスクメニュー言語/ディスク音声言語/ディスク字幕言語

オーディオトラック（ディスクオーディオ）、字幕、そしてディスクメニューで表示したい言語を選択します。

[オリジナル]

ディスクが収録された時に使用された元の言語を参照します。

[その他]

決定(⦿)を 押して別の言語を選択します。56 ページ に記載された言語コードから表示したい言語の4 桁数字を数字ボタンを使って入力し、決定(⦿)を押してください。

[オフ（] ディスク サブタイトルのみ）

字幕を消します。

注意

ディスクに応じて、言語設定が作動しない場合があります。

[オーディオ] メニュー

各ディスクで、いろいろなオーディオ出力の選択ができます。お持ちのオーディオシステムの種類に応じて、本機のオーディオ項目を設定してください。

注意

多くの要因が、オーディオ出力のタイプに影響を与えるので、詳細については、60 ページの「オーディオ出力仕様」をご参照ください。

デジタル出力

[PCM ステレオ]（HDMI、光）

本機のHDMI 出力端子、またはデジタル音声出力端子を、2チャンネルステレオのデジタルデコーダー機器に接続する場合に選択します。

[PCM Multi-Ch] (HDMI 接続のみ)

本機のHDMI 出力端子をマルチチャンネルのデジタルデコーダ機器に接続する場合に選択します。

[DTS再エンコード]（HDMI、光）

本機の HDMI 出力 端子または デジタル音声出力端子を、DTSデコーダー搭載機器に接続する場合に選択します。

[ビットストリーム]（HDMI、光）

本機の デジタル音声出力 端子またはHDMI出力 端子を、リニアPCM、ドルビーデジタル、ドルビーデジタル プラス、ドルビーTrueHD、DTS、DTS-HD デコーダ搭載機器に接続する場合に選択します。

注意

- [デジタル出力]オプションが[PCMマルチチャンネル]設定されている際に、PCMマルチチャンネル情報が、EDIDでHDMIデバイスから検出されない場合には、音声はPCMステレオとして出力します。

3

システム設定

サンプリング周波数 (デジタル音声出力)

[192 kHz]

お持ちの AV レシーバーまたはアンプが 192 kHz 周波数に対応可能な場合に選択します。

[96 kHz]

お持ちのAV レシーバーまたはアンプが 192 kHz 周波数に対応しない場合に選択します。この周波数を選択するとお持ちのシステムがデコードできるように、すべての192 kHz 周波数を96 kHz に自動変換します。

[48 kHz]

お持ちのAV レシーバーまたはアンプが 192 kHz、96 kHz の周波数に対応しない場合に選択します。この周波数を選択すると、お持ちのシステムがデコードできるように、すべての192 kHz、96 kHz の周波数を48 kHz に自動変換します。

お持ちのAV レシーバー、またはアンプの取扱説明書をご覧になり、対応可能な仕様かをご確認ください。

DRC (ダイナミックレンジコントロール)

この機能によって、クリアな音声を損なうことなく、低音量で動画をお楽しみいただけます。

[オフ]

この機能がオフになります。

[オン]

ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス、またはドルビーTrueHDのダイナミックレンジが圧縮されます。

[オート]

ドルビーTrueHDオーディオ出力のダイナミックレンジが自動的に指定されます。また、ドルビーデジタルとルビーデジタルプラスのダイナミックレンジは、[オン]モードの場合と同様に選択されます。

注意

DRCの設定は、ディスクが挿入されていないか、または装置が完全に停止モードになっていない時のみ変更することができます。

DTS Neo:6

プレーヤーをHDMI接続によってマルチチャンネルのオーディオレシーバーに接続している場合には、この機能を設定すると、2チャンネルのオーディオソースをマルチチャンネルサラウンドサウンドでお楽しみいただけます。

[オフ]

フロントスピーカーからのステレオサウンドで出力します。

[ミュージック]

音楽鑑賞に最適化されたマルチチャンネルサウンドで出力します。

[シネマ]

映画鑑賞に最適化されたマルチチャンネルサウンドで出力します。

注意

- この機能は、オンラインサービスでは利用できません。
- 48 kHz未満のサンプリング周波数しかないオーディオソースのみ、この機能で利用可能です。
- この機能は、[デジタル出力]オプションが[PCMマルチチャンネル]に設定されている場合のみ使用できます。

[ロック] メニュー

[ロック]設定は、ブルーレイディスクおよびDVDの再生の場合のみ有効です。

[ロック] 設定の機能を変更するには、お客様があらかじめ設定した 4桁の暗証番号を入力します。パスワードを入力していない場合は、最初に設定します。4 桁のパスワードを 2 回入力してから、決定(⦿) を押して 新しいパスワードを作成します。

パスワード

新しいパスワードを作成します。

[なし]

4 桁のパスワードを 2 回入力してから,
決定(⦿)を押して 新しいパスワードを作成します。

[変更]

設定されているパスワードを入力して
決定(⦿)を押します。4 桁のパスワードを 2 回入力してから 決定(⦿) を押して 新しいパスワードを作成します。

パスワードを忘れてしまった場合

ご自分のパスワードを忘れた場合は、次のステップでパスワードを解除することができます。

1. 本機にディスクが入っている場合は取り出します。
2. [設定] メニューから [パスワード] の項目を選択します。
3. 数字ボタンで「210499」と入力します。パスワードが解除されます。

! 注意

決定(⦿)を押す前に間違えた場合は、クリアを押して正しいパスワードを入力します。

DVD視聴制限レベル

ディスクのコンテンツにより年齢制限が設定されている DVD の再生をブロックします。(すべてのディスクに制限が付けられているわけではありません)。

[視聴制限 1-8]

視聴制限1(1)は、ほとんどが制限され、制限(8)は最小限の制限を備えています。

[ロック解除]

[ロック解除] を選択すると、視聴制限は動作せず、すべてのディスクが再生されます。

ブルーレイディスク視聴制限レベル

BD-ROM 再生の年齢制限を設定します。数字ボタンで BD-ROM を鑑賞できる年齢制限を入力します。

[255]

すべての BD-ROM を再生できます。

[0-254]

BD-ROM に記録された年齢制限によって BD-ROM の再生を禁止します。

! 注意

[Blu-rayディスクレート]は、高級レートコントロールが設定されているブルーレイディスクにのみ適用されます。

エリアコード

55ページのリストを基に、DVD ビデオディスクの年齢制限を指定する基準のエリアコードを入力してください。

[ネットワーク] メニュー

[ネットワーク] の設定は、ソフトウェアの更新や、BD-Live、そしてオンラインコンテンツサービスなどの機能を利用するのに必要な設定です。

接続設定

ホームネットワーク環境が本プレーヤーにすぐに接続できる場合には、有線、または無線でネットワーク通信ができるようにプレーヤーのネットワーク接続を設定する必要があります。
(18ページの「ホームネットワークに接続する」を参照)

接続状態

本機でネットワーク状態を確認する場合は、[接続状態] 項目を選択してから 決定(⦿) を押しネットワークとインターネットの接続が確立されているかどうか確認してください。

BD-LIVE接続

BD-Live 機能を使用する場合は、インターネットへのアクセスを制限することができます。

[許可]

すべての BD-Live コンテンツへのインターネットアクセスを許可します。

[一部許可]

所有者証明書のある BD-Live コンテンツのみインターネットアクセスを許可します。証明書のないすべての BD-Live コンテンツへのインターネットアクセスと AACS オンライン機能は禁止されます。

[禁止]

すべての BD-Live コンテンツへのインターネットアクセスを禁止します。

プレミアム

[国設定]

[プレミアム]の機能に適切なサービスやコンテンツを表示するために、お住まいの地域を選択します。

デバイス名

仮想キーボードを使ってネットワーク名を作ることができます。入力する名前によってホームネットワーク上で本機が認識されます。

Wi-Fi Direct

本機はWi-Fi Direct™ の認定デバイスです。Wi-Fi Direct™ は、デバイスがアクセスポイントやルーターに接続せずにお互いを接続する技術です。Wi-Fi Direct™ モードを作動させる場合はこのオプションを[オン]に設定します。デバイス接続に関しては34 ページをご参照ください。

[その他] メニュー

DivX® VOD

DIVX ビデオについて: DivX® は Rovi Corporation の子会社であるDivX LLCのデジタルビデオ圧縮技術です。本機はDivX ビデオ再生用のDivX Certified® 製品です。DivX 形式のビデオにを変換するソフトウェアツールについては、divx.comをご覧ください。

DIVXビデオオンデマンドについて：購入したDivXビデオオンデマンド (VOD) の内容を再生するための登録が必要です。登録コードを取得するには、デバイスセットアップメニューのDivX VODセクションをご参照ください。登録方法の詳細については、vod.divx.comにアクセスしてください。

[登録]

本機の登録コードを表示します。

[登録削除]

本機の使用をやめるときに、コードを無効にします。

本機の登録コードでDivX (R) VODからダウンロードされたすべての動画は、本機で再生することができます。

オートパワーオフ

スクリーンセーバーは、停止モードで約５分後に表示されます。オートパワーオフを「オン」にすると、スクリーンセーバーが表示された約２０分後に自動的に電源が切れます。オートパワーオフをオフにすると、再び操作を始めるまでスクリーンセーバーが表示され続けます。

初期化

[初期設定]

本機を工場出荷時の設定にリセットすることができます。

[BD-LIVEストレージ消去]

接続したUSBストレージのBD-Live コンテンツを初期化します。

注意

[工場出荷時の設定]オプションを使って、元の工場出荷時の設定に本機をリセットする場合は、再度オンラインサービス、およびネットワーク設定のすべての作動を設定する必要があります。

ソフトウェア

[情報]

ソフトウェアの最新バージョンを表示します。

[更新]

本機をソフトウェア更新サーバーに直接接続することで、ソフトウェアの更新ができます。(51ページ参照)

免責事項について

決定(◉) を押して、ネットワークサービスの免責事項 についてご覧ください。

一般的な再生

[HOME]（ホーム）メニューの使用

ホーム (🏠)を押すと、ホーム メニューが表示されます。∧/∨/</> を使ってカテゴリーを選択し、決定(⦿)を押します。

1	**[動画]** - ビデオコンテンツを再生します。
2	**[写真]** - 写真コンテンツを再生します。
3	**[音楽]** - 音楽コンテンツを再生します。
4	**[プレミアム]** - プレミアムホームスクリーンを表示します。
5	**[設定]** - システム設定を調整します。

ディスクを再生する

BD **DVD** **AVCHD** **ACD**

1. ⏏ (開/閉） を押して、ディスクをディスクトレイに置きます。
2. ⏏ (開/閉） を押してディスクトレイを閉めます。
3. ホーム (🏠) を押します 。
4. </> で [動画] または [音楽] を選択してから 決定(⦿)を押します 。
5. ∧/∨ を使って[Blu-ray ディスク], [DVD], [VR] または [Audio] のオプションを選択し、決定(⦿) を押します。

注意

- BD-ROMのタイトルに応じて、適切に再生するためにUSBデバイスの接続が必要になる場合があります。
- ファイナライズされていないDVD-VRフォーマットディスクは、本機で再生することはできません。
- DVD-VRディスクの中にはDVDレコーダーでCPRMのデータで作られているものがあります。本機は、これらの種類のディスクをサポートすることはできません。

ディスク/USB機器のファイルを再生する

MOVIE **MUSIC** **PHOTO**

本機は、データディスクまたはUSB機器に記録されている動画、音楽、写真ファイルを再生できます。

1. データディスクをディスクトレイに挿入するか、またはUSB機器を接続します。
2. ホーム (🏠) を押します 。
3. </> で[動画] [写真]または [音楽] を選択してから決定を (⦿)押します。
4. ∧/∨ を使って[データ], または [USB] のオプションを選択し、決定(⦿) を押します 。
5. ∧/∨/</>で再生するファイルを選択してから ▶(再生) または決定(⦿) を押します。

ブルーレイ3Dディスクを再生する

BD

本機は左右の目に対して異なる映像を表示するブルーレイ3Dディスクを再生することができます。

準備事項

立体3Dモードでブルーレイ3Dタイトルを再生するには、以下の環境が必要になります。

- テレビが3Dに対応しHDMI 入力があること。
- 必要な場合は3D映像の視聴を楽しむために3Dメガネを着用してください。
- BD-ROMタイトルがブルーレイ3Dディスクになっていること。
- HDMIケーブル（Aタイプ、High Speed HDMI™ ケーブル）を、プレーヤーのHDMI出力とテレビのHDMI入力の間に接続します。

1. ホーム（🏠）を押します。[設定]メニューの[3Dモード] オプションを [オン]（ 26ページ）に設定します。
2. ⏏ (開/閉）を押して、ディスクをディスクトレイに置きます。
3. ⏏ (開/閉）を押してディスクトレイを閉めます。

   自動的に再生が始まります。
4. 3D対応テレビのご使用に際しては、テレビの取扱説明書もご参照ください。

BD-Live™ を楽しむ

BD

ネットワークの拡張機能を備えた BD-Live対応の BD-ROMにより、装置をインターネットに接続して新しい映画の予告編をダウンロードするなど、よりに多くの機能を楽しむことができます。

1. ネットワーク接続と設定を確認します。(18ページ参照)
2. USB ストレージ機器を前面パネルにあるUSB端子に差し込みます。

   ボーナスコンテンツをダウンロードするには、USB ストレージ機器が必要です。
3. ホーム（🏠）を押し、[設定]メニューの[BD-LIVE 接続]オプションを設定します(30ページ)。

   [BD-LIVE接続] の項目が [一部許可] に設定されていると、ディスクによってはBD-Live 機能が作動しない場合があります。
4. BD-Live 機能のある BD-ROM ディスクを挿入します。

   ディスクによって機能が異なります。ディスクの取扱説明書をご参照ください。

⚠ 注意

コンテンツのダウンロードまたはブルーレイディスクがディスクトレイにまだある間は、接続されているUSB機器を抽出しません。そうすることで、接続したUSB機器に損傷を与えるので、BD-Liveの機能は、もはや、破損したUSB機器で正しく作動しない場合があります。
接続されているUSBデバイスが破損していると思われる場合は、PCから接続されているUSB機器をフォーマットして、本機で再利用することができます。

❗ 注意

- コンテンツ提供者の意思により、アクセスが制限されている領域のあるBD-Liveコンテンツもあります。
- ディスクを挿入してBD-Live コンテンツを再生できるまでに数分かかる場合があります。

4 操作

ネットワークサーバーの ファイルを再生する

MOVIE **MUSIC** **PHOTO**

本機は、ホーム ネットワークを介して、ビデオファイル、オーディオファイル、写真ファイルの再生が可能です。

1. ネットワーク接続と設定を確認します。(18ページ参照)
2. ホーム (🏠) を押します 。
3. </>で[動画] [写真]または [音楽] を選択してから決定を (⦿)押します。
4. Λ/Vを使用してDLNAメディア サーバーまたリストから選択してから、決定(⦿)を押します。

利用可能なメディア サーバーを再検索する場合は、緑色（G）のボタンを押してください。

5. を使用 してファイルを選択しΛ/V/</>, を押し て決定(⦿) ファイルを再生します。

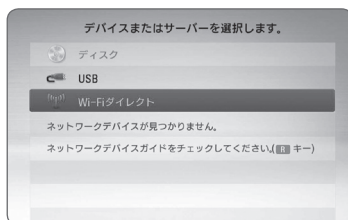
> **! 注意**
>
> - ファイルの要件は、8ページに記載されています。
> - 再生できないファイルのサムネイルを表示することができますが、本機で再生することはできません。
> - 字幕ファイル名と、ビデオファイル名は同じである必要があり、同じフォルダに置く必要があります。
> - 再生および操作品質は、ホームネットワークの状態に影響されます。
> - サーバー環境によっては、接続に問題が生じる場合があります。
> - DLNAサーバーとしてPCを設定するには、お使いのPCと共に提供されるNero MediaHome4をインストールします。（52ページをご参照ください）

Wi-Fi Direct™で接続する

Wi-Fi Direct™ 認証デバイスへの接続

MOVIE **MUSIC** **PHOTO**

本機は、Wi-Fi Direct™ 認定デバイスにある映画、音楽、写真ファイルを再生することができます。Wi-Fiの Direct™テクノロジーは、アクセスポイントなどのネットワークデバイスに接続しなくても本機を直接 Wi-Fi Direct™ 認証デバイスに接続させます。

1. [設定]メニューで[Wi-Fiダイレクト]オプションを[オン]に設定します。(30ページ)
2. ホーム (🏠) を押します 。
3. </>で[動画] [写真]または [音楽] を選択してから決定を (⦿)押します。
4. [Wi-Fi Direct]のオプションを選択し、Λ/Vを使用して、決定(⦿)を押します 。

5. Λ/Vを使用して、 リスト上の Wi-Fi Direct™ デバイス を選択し、決定(⦿)を押します 。

Wi-Fi Direct™の接続は自動的に行われます。

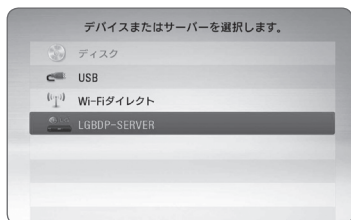
Wi-Fi Direct™のデバイスがWPS（Wi-Fi保護セットアップ）に基盤する、PINコードの設定機能をサポートしている場合は、リスト上のデバイスを選択し、イエロー（Y）のボタンを押します。画面上のPIN番号をメモしてから、接続するデバイスの設定メニューのPIN番号を入力します。

4 操作

再スキャン可能なWi-Fi Direct™ デバイスにしたい場合は、緑（G）色のボタンを押してください。

注意

他のWi-Fi Directデバイスから本機を接続すると、PIN接続は使用できません。

6. 接続されたWi-Fi Direct™ デバイスと、共有のサーバー選択し
   Λ/Vを使用 してサーバーをナビゲートするために 、決定(b）を 押します。

デバイスリストからサーバーを選択するには、ファイルやフォルダは、接続されたWi-Fi Direct™ デバイスからDLNAサーバーによって共有される必要があります。

7. Λ/V/</> で再生するファイルを選択し、決定(⦿)を押します。

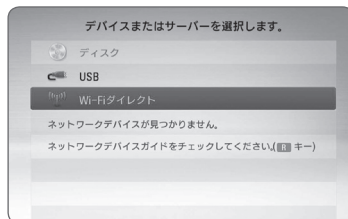
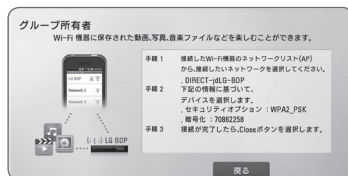
注意

- より効率的な伝送のために、Wi-FiDirect™ 認証サーバーからできるだけ近くに本機を置きます。
- 本機は一度に1つのデバイスを接続することができます。複数の接続は利用できません。
- デバイスがWi-Fi Direct™機能によって接続されているワイヤレスネットワークに接続しようとする場合は、Wi-Fi Direct™ 接続が強制的に切断されます。
- 本機と Wi-Fi Direct™デバイスが異なるネットワーク に接続されている場合は、Wi-Fi Direct™の接続が利用できない場合があります。
- Wi-Fi Direct™認証デバイスがWi-Fi Directスタンバイモードになっていない場合、本機はデバイスを見つけることができません。
- 本機は、グループ所有者モードであるWi-Fi Direct™ デバイスに接続することはできません。

Wi-Fiが使用可能なデバイスへの接続

MOVIE **MUSIC** **PHOTO**

本機は、Wi-Fi Direct™ 機能を使って、一般的なWi-Fiデバイスに接続することができます。

1. [設定]メニューで[Wi-Fiダイレクト]オプションを[オン]に設定します。（30ページ）
2. ホーム (⌂) を押します 。
3. </>で[動画] [写真]または [音楽] を選択してから決定を (⦿),押します。
4. [Wi-Fi Direct]のオプションを選択し、Λ/Vを使用して、決定(⦿)を押します 。

5. [SSID]、[セキュリティオプション]と本機の[暗号化]を表示するためにを赤色（R）のボタンを押します。

6. Wi-Fiデバイスで、上記ステップ5の[ネットワーク名(SSID)]、[セキュリティオプション]と[暗号化]を使用して、本機へネットワークを接続させます。
7. デバイスの一覧を表示するには、二回 戻る (↩)を押します。

4
操作

8. 接続されたWi-Fi Direct™デバイスまたは共有するサーバーを選択し、決定(⦿）を押します。

デバイスリストからサーバーを選択するには、ファイルやフォルダは、接続されたWi-Fi Direct™ デバイスからDLNAサーバーによって共有される必要があります。

9. を使用してファイルを選択し∧/∨/</>を押して決定(⦿) ファイルを再生します。

注意

Wi-Fiを装備したデバイスへの接続の場合には、PIN接続は作動しません。

ビデオおよびオーディオ コンテンツの基本操作

再生を停止するには

再生中に ■ (停止) を押します。

再生を一時停止するには

再生中に II (一時停止) を押します。▶ (再生) を押すと、レジューム再生を開始します。

フレームバイフレームを再生するには（ビデオ）

映画の再生中に II (一時停止) を押します。
II (一時停止) を繰り返し押して 1 フレームずつコマ送りします。

早送り/早戻しをするには

再生中に ◀◀ または ▶▶ を押すと、早送り/早戻し再生になります。

◀◀ または ▶▶ を繰り返し押すと、早送り/早戻しの再生速度を変えることができます。

スローモーションで再生するには

再生の一時停止中に、▶▶ を繰り返し押してスローモーションのスピードを変えて再生します。

次や前のチャプター/トラック/ファイルにスキップするには

再生中に I◀◀ または ▶▶I を押すと、次のチャプター/トラック/ファイルに移動したり、再生中のチャプター/トラック/ファイルの先頭に戻ることができます。

I◀◀ を素早く二度押すと、前のチャプター/トラック/ファイルに戻ります。

サーバーのファイル リスト メニューでは、1つのフォルダ内に多くの種類のコンテンツが存在することがあります。この場合は、I◀◀ または ▶▶I を押して、同じ種類の前または次のコンテンツに移動します。

写真コンテンツの基本操作

スライド ショーを表示するには

スライド ショーを開始するには、▶ (再生) を押します。

スライド ショーを停止するには

スライド ショーの途中で ■ (停止) を押します。

スライド ショーを一時停止するには

スライド ショーの途中で ⏸ (一時停止) を押します。スライド ショーを再開するには、▶ (再生) を押します。

次/前の写真へスキップするには

全画面で写真を表示しているときに、< または > を押して、前または次の写真に移動します。

ディスクメニューの使用

BD **DVD** **AVCHD**

ディスクメニューを表示するには

メニュー画面は、メニューが含まれているディスクをロードした後、最初に表示されることがあります。再生中にディスク メニューを表示するには、ディスクメニュー を押します。

Λ/V/</>ボタンを使用 して、メニュー項目を移動します。

ポップアップ メニューを表示するには

一部のBD - ROMディスクには、再生中に表示されるポップアップメニューが含まれています。

再生中に タイトル/ポップアップ を押すと、Λ/V/</> ボタンを使用して、メニュー項目を移動できます。

さまざまな再生

リピート再生

BD **DVD** **AVCHD** **ACD** **MUSIC** **MOVIE**

再生中にリピート ( ) を繰り返し押して、リピートモードを選択します。

ブルーレイディスク/DVD/動画ファイル

A- – 指定した区間が繰り返しリピート再生されます。

チャプター – 現在再生中のチャプターが繰り返し再生されます。

タイトル – 現在再生中のタイトルが繰り返し再生されます。

すべて – すべてのトラックやファイルが繰り返し再生されます。

通常の再生に戻るには、リピート ( ) を繰り返し押して [オフ] を選択します。

オーディオ CD/音楽ファイル

Track – 現在再生中のトラックが繰り返し再生されます。

All – すべてのトラックやファイルがに繰り返し再生されます。

– トラックやファイルがランダムに再生されます。

All – すべてのトラックやファイルがランダムに繰り返し再生されます。

A-B – 指定した区間が繰り返しリピート再生されます。(オーディオCDのみ)

通常の再生に戻るには、クリア を押してください。

注意

- チャプター/トラックの再生中に ►►I (スキップ) を押すと、リピート再生は取り消されます。
- この機能はディスク、タイトル、ファイルタイプによっては作動しない場合があります。

4 操作

区間指定のリピート

BD **DVD** **AVCHD** **ACD** **MOVIE**

本機は指定した区間をリピート再生することができます。

1. 再生中にリピート( ) を押して、リピート再生を開始したい位置で[A-]を選択します。
2. リピート再生を終了したい位置で 決定(◉) を押します。指定した区間がリピート再生されます。
3. 通常の再生に戻るには、リピート ( ) を繰り返し押して [オフ] を選択します。

注意

- 3秒以内の短い区間は指定できません。
- この機能が動作しないディスクやタイトルがあります。

コンテンツ情報を見る

MOVIE

本機でコンテンツ情報を表示することができます。

1. Λ/V/</>でファイルを選択します 。
2. かんたんメニュー ( ) を押してオプションメニューを表示します。
3. Λ/Vボタンで [情報] 項目を選択してから、決定(◉) を押し ます。

   ファイルの情報が画面に表示されます。

ビデオの再生中にタイトル/ポップアップを押すと、ファイル情報を表示できます。

注意

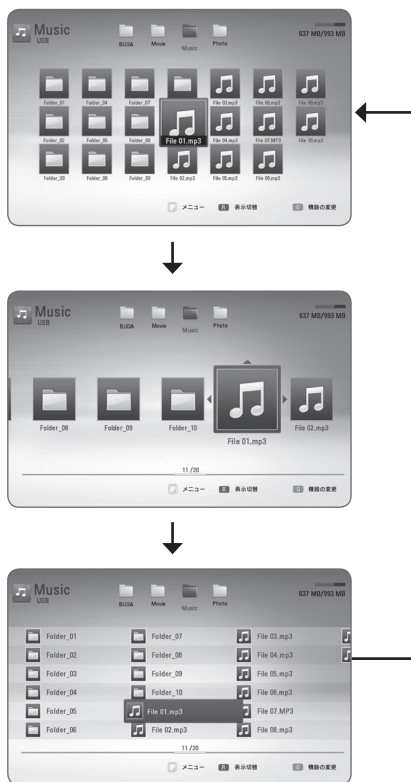
画面に表示されている情報は、実際のコンテンツ情報と比較して正しくない場合があります。

コンテンツリストの表示を変更する

MOVIE **MUSIC** **PHOTO**

[動画]、[音楽]または[写真]メニューで、コンテンツリストの表示を変更することができます。

方法 1

赤色 (赤)のボタンを繰り返し押します。

方法 2

1. コンテンツリスト画面で、かんたんメニュー(☐) を押してオプションメニューを表示します。
2. Λ/V で［ビューを変更］項目を選択します。
3. 決定(⦿) を押してコンテンツリストの表示を変更します。

字幕ファイルを選択する

MOVIE

映画ファイルと字幕ファイルのファイル名が異なる場合は、映画を再生する前に[動画]メニューから字幕ファイルを選択する必要があります。

1. [動画]メニューで、再生したい字幕ファイルを選択するには Λ/V/</> を使用します。
2. 決定(⦿)を押します 。

字幕ファイルの選択を解除するには、再度決定(⦿) を押します。映画ファイルを再生する際に、選択した字幕ファイルが表示されます。

注意

- 再生中に ■ (停止) を押すと、字幕の選択がキャンセルされます。
- サーバー上のファイルをホーム ネットワーク経由で再生する場合には、この機能は利用できません。

4 操作

写真表示のオプション

PHOTO

フルスクリーンで写真を閲覧中にさまざまなオプションを使用することができます。

1. フルスクリーンで写真を見ながら、オプションメニューを表示するには、かんたんメニュー (☐)を押してください。
2. ∧/∨ を使ってオプションを選択します 。

1. **現在の写真/写真の総数** - </> で前/次の写真を表示します。
2. **スライドショー** - スライドショーを開始または一時停止するには 決定(⦿) を押します。
3. **音楽を選択** – スライドショーの BGM を選択します。(40ページ)
4. **ミュージック** – プレスバックグラウンドミュージックを開始または一時停止するには 決定(⦿) を押します。
5. **回転** - 写真を時計回りに回転させるには 決定(⦿) を押します。
6. **ズーム** - [ズーム]メニューを表示させるには、決定(⦿) を押します。
7. **効果** - スライドショーの写真間のトランジションエフェクトを選択するには、</> を使用します。
8. **速度** - スピードースライドショーのスピードを調整するには、</> を使用します。

3. オプションメニューを終了するには、戻る(⮌) を押します。

音楽を聴きながらスライドショーを楽しむ

PHOTO

音楽ファイルを聴きながら、写真ファイルを表示することができます。

1. フルスクリーンで写真を見ながら、オプションメニューを表示するには、かんたんメニュー (☐) を押してください。
2. [音楽の選択]メニューを選択するために ∧/∨を使用し[音楽の選択]メニューオプションを表示するために 決定(⦿) を押します。
3. デバイスを選択するには∧/∨を 使用 し決定(⦿)を押します。

   選択することができるデバイスは、フルスクリーンで表示している写真ファイルの場所によって異なるがあります。

写真の場所	利用可能なデバイス
ディスク、USB	ディスク、USB
DLNA サーバー	DLNA サーバー

4. 再生したいファイルまたはフォルダを選択するには∧/∨を 使用します。

上位ディレクトリを表示させるには、⮤ を選択し、決定(⦿)を押します。

注意

サーバーから音楽ファイルを選択する場合は、フォルダの選択は利用できません。ファイル選択のみが可能です。

5. > を使用 して [OK] を選択し、決定(⦿)は、音楽の選択を完了します。

4
操作

コンテンツ情報を確認する

コンテンツのあらゆる情報や設定を表示したり調整したりすることができます。

コンテンツ情報を画面に表示する

BD **DVD** **AVCHD** **MOVIE**

1. 様々な再生情報を表示するには、再生中にかんたんメニュー (□) を押します。

1	**タイトル** – 現在再生中のタイトル番号/総タイトル数
2	**チャプター** – 現在再生中のチャプター番号/総チャプター数
3	**時刻** – 再生経過時間/総再生時間
4	**オーディオ** – 選択されている音声言語やチャンネル
5	**字幕言語** – 選択されている字幕言語
6	**アングル** – 選択されているアングル数/総アングル数
7	**縦横比** – 選択されているテレビの画面比率
8	**ピクチャーモード** – 選択されている画像モード
9	**映画情報** – このオプションを選択し、グレースノートメディアデータベース(BD-ROM/DVDのみ)からムービー情報を表示するには 決定(◎) を、押します。

2. Λ / V を使用してオプションを選択します。
3. < / >で選択されている項目の値を調整します。
4. オンスクリーン表示を終了するには、戻る (⮌)を押します。

注意

- ボタンを2、3 秒内に押して操作しないと、クイックメニューは消えます。
- タイトル番号を選択できないディスクがあります。
- 選択できる項目はディスクやタイトルによって異なる場合があります。
- インタラクティブブルーレイディスクを再生する場合、設定情報がスクリーンに一部表示されますが、変更することは禁じられています。
- [映画情報]オプションを使用するには、グレースノートメディアデータベースにアクセスするために、本機がブロードバンドインターネットに接続されていなければなりません。
- LGは、グレースノート技術のライセス所有者であり、グレースノートメディアデータベースからの情報に対して一切責任を負いません。

タイムサーチ再生

BD DVD AVCHD MOVIE

1. 再生中に かんたんメニュー (□) を押します。タイムサーチボックスでは、再生経過時間を示しています。
2. [時刻] 項目を選択し、開始時間を左から右に、時間、分、秒と順に入力します。

   例えば、2 時間 10 分 20 秒のシーンにサーチする場合は、「21020」と入力します。

   前方または後方に再生60秒スキップするには </> を押します。
3. 選択した時間から再生を開始するには 決定(⦿) を押します。

! 注意

- ディスクまたはタイトルによっては、この機能が動作しない場合があります。
- ファイルの種類およびDLNAサーバーの性能によっては、この機能が動作しない場合があります。

字幕言語を選択する

BD DVD AVCHD MOVIE

1. 再生中に、かんたんメニュー (□) を押し、オンスクリーンディスプレイを表示します。
2. [字幕]オプションを選択するには Λ / V を使用します。
3. 字幕言語を選択するには、</> を使用します。
4. オンスクリーン表示を終了するには、戻る (⮌) を押します。

! 注意

- ディスクによっては、オーディオの選択がディスクメニューからしかできないものがあります。この場合は、タイトル/ポップアップまたはディスクメニューボタンを押して、ディスクメニューから適切な音声を選んでください。
- この字幕ボタンを押すことによって直接オンスクリーンディスプレイの[字幕]オプションを選択することができます。

音声を切り換える

BD DVD AVCHD MOVIE

1. 再生中に、かんたんメニュー (□) を押し、オンスクリーンディスプレイを表示します。
2. [オーディオ]オプションを選択するには Λ / V を使用します。
3. ご希望の音声言語は、オーディオ·トラック、またはオーディオチャンネルを選択するには </> を使用します。

! 注意

- ディスクによっては、オーディオの選択がディスクメニューからしかできないものがあります。この場合は、タイトル/ポップアップまたはディスクメニューボタンを押して、ディスクメニューから適切な音声を選んでください。
- サウンドを切り換えた直後に、表示サウンドと実際のサウンドとの間に一時的なずれが生じる場合があります。
- BD-ROM ディスクでは、マルチチャンネルオーディオフォーマット(5.1CH または 7.1CH)は、[マルチCH] とOSD 画面に表示されます。
- オーディオボタンを押すことによって、直接 オンスクリーンディスプレイ上の[オーディオ]オプションを選択することができます。

別アングルの映像を見る

BD DVD

違うカメラアングルで録画されたシーンがディスクに含まれている場合は、再生中に別のカメラアングルに切り換えることができます。

1. 再生中に、かんたんメニュー (□) を押し、オンスクリーンディスプレイを表示します。
2. [アングル]オプションを選択するには Λ / V を使用します。
3. 好みのアングルを選択するには 、</> を使用します。
4. オンスクリーン表示を終了するには、戻る (⮌) を押します。

テレビの縦横比を変更する

BD **AVCHD** **MOVIE**

再生中にテレビの画面比率設定を変更することができます。

1. 再生中に、かんたんメニュー (□) を押し、オンスクリーンディスプレイを表示します。
2. [テレビのアスペクト比]オプションを選択するには ∧/∨ を使用します。
3. ご希望のコードオプションを選択するには、</> を使用します。
4. オンスクリーン表示を終了するには、戻る (↩) を押します。

注意

OSD かんたんメニューで[縦横比]の値を変更しても、[設定]メニューの[縦横比]項目の値は変わりません。

字幕コードページを選択する

MOVIE

字幕が文字化けされる場合は、字幕コードページを変更して正しく表示することができます。

1. 再生中に、かんたんメニュー(□) を押し、再生メニューを表示します。
2. [コードページ]オプションを選択するには ∧/∨ を使用します。
3. ご希望のコードオプションを選択するには、</> を使用します。

4. オンスクリーン表示を終了するには、戻る (↩) を押します。

画像モードを変更する

BD **DVD** **AVCHD** **MOVIE**

再生中に[ピクチャーモード]項目を変更することができます。

1. 再生中に、かんたんメニュー(□)を押し、オンスクリーンディスプレイを表示します。
2. [写真モード]オプションを選択するには ∧/∨ を使用します。
3. ご希望のコードオプションを選択するには、</> を使用します。
4. オンスクリーン表示を終了するには、戻る (↩) を押します。

[ユーザー設定]オプションを設定する

1. 再生中に、かんたんメニュー (□) を押し、オンスクリーンディスプレイを表示します。
2. [写真モード]オプションを選択するには ∧/∨ を使用します。
3. [ユーザー設定]オプションを選択するには、</> を使用し 決定(◎)を押します。

4. [写真モード]オプションを調整するには ∧/∨/</> を使用します。

   [デフォルト]オプションを選択し、すべての映像調整値をリセットするために決定(◎)を押します。
5. [閉じる]オプションを選択するには ∧/∨/</> を使用し、 設定を終了するために決定(◎)を押します。

4

操作

オーディオCD録音

オーディオCD から希望するトラックを1 つ、または全トラックをUSB機器に録音することができます。

1. USB機器を前面パネルにあるUSB端子に差し込みます。
2. ⏏ (開/閉) を押して、オーディオ CD をディスクトレイに置きます。

   ⏏ (開/閉) を押してディスクトレイを閉めます。自動的に再生を開始します。
3. オプションメニューを表示するには、かんたんメニュー (☐) を押します。
4. [CD録音]オプションを選択するには Λ / V を使用し、 決定(⦿)を押します。
5. メニューに録音したいトラックを選択するには Λ / V を使用し、決定(⦿) を押します。

   この手順を繰り返して、お望みの数のトラックを選択することができます。

全て選択	オーディオCD のトラックをすべて選択します。
オプション	ポップアップメニュー（128kbpsの、192kbpsのまたは320kbpsの）からのエンコードオプションを選択します。
戻る	録音を中止し、前の画面に戻ります。

6. Λ / V / < / >で[スタート] を選び、決定(⦿) を押します。
7. Λ / V / < / >で録音先のフォルダーを選択します。

   新規フォルダーを作成する場合は、Λ / V / < / >で[新規フォルダ]を選び、決定(⦿)を押し ます。

   [OK]が選択されている間にバーチャルキーボードを使用してフォルダ名を入力し 決定(⦿)を押します。

8. [OK] を選択するには Λ / V / < / >を使用し、オーディオCDの録音を開始するために 決定(⦿) を押します。

   録音を停止したい場合は、[取り消し] ボタンを選択して決定(⦿) を押してください。
9. オーディオCDの録音が完了するとメッセージが表示されます。録音先のフォルダで作成されたオーディオファイルを確認するには 決定(⦿) を押します。

注意

- 次の表には、例として、再生時間4 分のオーディオトラックを192 kbps のエンコードレートで音楽ファイルに録音した場合の平均的な録音時間を表示しています。

停止モード	再生中
1 分	4 分

- 上の表の録音時間は概算です。
- 実際の録音時間は、USB機器によって異なります。
- USB機器に録音する場合は、最低50 MB の空き容量があることを確認してください。
- 適切に録音するには、オーディオの合計時間が20秒以上である必要があります。
- 録音中は、本機の電源を切ったり、接続されているUSB機器を抜いたりしないでください。

注意

本機の録音またはコピー機能は、個人および非営利目的のために提供されています。著作権で保護されているコンテンツを許可なく複製することは、著作権の侵害や不法行為が成立する場合があります。本機をそれらの目的で使用することは固く禁じられています。当社は、違法配信または営利目的でのコンテンツの不正使用について、一切の責任を取りません。

グレースノートメディアデータベースからの情報を表示する

本機は、グレースノートメディアデータベースに接続し音楽に関する情報をローディングできますので、トラック名、アーティスト名、ジャンルなどのテキスト情報をリストに表示できます。

オーディオCD

オーディオCDを挿入したとき、本機は自動的に再生を開始し、グレースノートメディアデータベースから音楽のタイトルをロードします。

データベースからの音楽情報がない場合は、音楽タイトルが画面に表示されません。

音楽ファイル

1. Λ/V/</>を使用し、音楽ファイルまたはオーディオトラックを選択します。
2. オプションメニューを表示するには、かんたんメニュー (□) を押します。
3. Λ/V を使用し、[情報]オプションを選択し、 決定(◉) を押します。

   本機は、グレースノートメディアデータベースの音楽情報にアクセスします。

ブルーレイディスク/ DVD /ビデオファイル

再生中の動画から音楽を聴きながら、ミュージックIDを押してグレースノートメディアデータベースから音楽情報のローディングを開始します。

> **!　注意**
>
> - 本機は、グレースノートメディアデータベースにアクセスするためにブロードバンドインターネットに接続する必要があります。
> - 音楽情報が、グレースノートメディアデータベースにない場合は、メッセージが画面に表示されます。
> - 場合によっては、グレースノートメディアデータベースから音楽情報をロードするために数分かかることもあります。
> - 選択した言語が、グレースノートメディアデータベースで使用できない場合、表示される情報は文字化けとなることがあります。
> - この機能は、DLNAサーバー内のコンテンツおよびオンラインコンテンツには使用できません。
> - LGは、グレースノート技術のライセンス所有者であり、グレースノートメディアデータベースからの情報に対して一切責任を負いません。
> - お客様の個人的な目的のために作られたオーディオCDに関する情報はグレースノートメディアデータベースに含まれていないので、この機能でサポートすることはできません。
> - サポートされている音楽ファイルの拡張子：mp3, wma, m4a

プレミアムコンテンツを楽しむ

プレミアム機能によりインターネットのさまざまなコンテンツサービスを利用できます。

1. ネットワーク接続と設定を確認します。(18ページ参照)
2. ホーム (🏠) を押します 。
3. </>使用して、[プレミアム]を選択してから、 決定(b)を押します。.

4. ∧/∨/</>を使用し、オンラインサービスを選択してから、 決定(⊙) を押します。

❗ 注意

- いずれかのサービスの詳細情報が必要な場合は、コンテンツ・プロバイダーに問い合わせるか、該当するサービスのサポートリンク先をご覧ください。
- プレミアムサービスの内容と、ユーザー・インターフェースなど、同サービス関連の情報は、予告なく変更される場合があります。最新の情報については、各サービスのウェブサイトをご参照ください。
- 無線ネットワーク接続でプレミアム機能を使用すると、無線ネットワークと同じ周波数帯域を使用する家電製品などとの干渉により映像が正常に表示されなくなる場合があります。
- [プレミアム]機能に初めてアクセスする場合、現在地の国の設定が表示されます。国の設定を変更する場合は、[編集]を選択して 決定(⊙) 押します。

トラブルシューティング

一般

症状	原因および解決策
電源が入らない。	• 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれているか確認してください。
ディスクの再生ができない。	• ディスクの種類、カラーシステム、リージョンコードを確認し、本機で再生可能なディスクであるか確認してください。 • 再生面を下にして、ディクストレイに置かれているか確認してください。 • ディスクがディスクトレイ内に正しく置かれているか確認してください。 • 再生面を拭いてください。 • レーティング機能を解除するか、レーティングのレベルを変更してください。
アングルを変更できない。	• 再生中の DVD ビデオには複数のアングルが記録されてない。
音楽/写真/映画ファイルを再生できない。	• 本機で再生できる形式のファイルであるかどうか確認してください。 • 本機が対応している映画ファイルのコーデックであるか確認してください。
リモコンが使えない。	• リモコンがリモコン受光部に向けられているか確認してください。 • 本機とリモコンの距離が離れていると、リモコンが動作しない場合があります。 • 本機とリモコンの間に障害物がないか確認してください。 • リモコンの電池を取り替えてください。
電源プラグが接続されているのに電源が入らない、または切れない。	次の方法で本機をリセットしてください。 • 電源コードをコンセントから抜き、5 秒以上待ってから再度差し込んでください。
本機が正常に動作しない。	

ネットワーク

症状	原因および解決策
BD-Live 機能が動作しない。	• 接続されている USB ストレージの空き容量が不足している。1GB以上の空き容量のある USB ストレージを接続してください。 • 本機がローカルエリアネットワーク（LAN）に正しく接続され、インターネットにアクセスできる環境であるか確認してください(18ページ参照)。 • BD-Live 機能を利用するには、十分な通信速度を確保したブロードバンド回線が必要です。ご利用のインターネットサービスプロバイダ（ISP）にお問い合わせいただき、ブロードバンド回線のスピードを速くすることを推奨します。 • [設定] メニューの [BD-LIVE接続] の項目が [禁止] に設定されています。[許可] に設定してください。
YouTube™ などのビデオストリームサービスが、再生中に停止したり「バッファ」したりすることが多い。	• ビデオストリームサービスを利用するには、十分な通信速度を確保したブロードバンド回線が必要です。ご利用のインターネットサービスプロバイダ（ISP）にお問い合わせいただき、ブロードバンド回線のスピードを速くすることを推奨します。
メディア サーバーが、デバイスリストに表示されない。	• メディア サーバー上のファイアウォールまたはウィルス対策ソフトウェアが実行中です。PCまたはメディア サーバー上のファイアウォールまたはウィルス対策ソフトウェアをオフにしてください。 • 本機は、メディアサーバーが接続されているローカルエリアネットワークに接続されていません。
アクセスポイントまたは無線LANルータに接続できない。	• 無線通信は、無線周波数を使用している家庭用デバイスから干渉を受けることがあります。そこから本機を離して、移動します。
アクセスポイントが、「アクセスポイント名」のリストに表示されない。	• アクセスポイントまたは無線LANルータがSSIDをブロードキャストしない場合があります。お使いのPCを介してそのSSIDをブロードキャストするようにアクセスポイントを設定します。 • アクセスポイントなどのネットワークデバイスが本機がサポートできる利用可能な周波数範囲とチャネルで設定されない場合があります。ネットワークデバイスの設定で周波数範囲、およびチャンネルを設定してみてください。

画像

症状	原因および解決策
画像が映らない。	• テレビ画面に本機からの画像が映るように、適切な入力モードをテレビ側で選択してください。 • ビデオを確実に接続してください。 • [設定] メニューの [HDMIカラー設定] がビデオ接続に適合する項目に設定されているか確認してください。 • テレビが本機で設定している解像度に対応していません。テレビが対応する解像度に変更してください。 • 本機の HDMI 出力 端子が、著作権保護に対応しない DVI 機器に接続されています。
画像にノイズが現れる。	• テレビのカラーシステムと一致しない放送ステムで記録されたディスクを再生しています。 • テレビが対応する解像度に変更してください。
ブルーレイ3Dディスクの再生時に3D映像が表示されない。	• HDMIケーブル（タイプA、High Speed HDMI™ ケーブル）を使用して、プレーヤーをテレビに接続してください。 • お手持ちのテレビが3D映像に対応していません。 • [設定] メニューの [3Dモード] オプションは [オフ] に設定されています。オプションを [オン] に設定します。

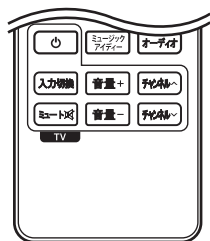
カスタマーサポート

製品の動作機能を向上させたり、新しい機能を追加するために、本機のソフトウェアを最新バージョンに更新することができます。本機の最新のソフトウェアを取得するには（更新がある場合）、当社ホームページ（http://www.lg.com/jp）にアクセスするか、当社カスタマーサポートセンターにご相談ください。

オープンソースソフトウェアの通知

GPL,LGPL、およびその他のオープンソースライセンスに基づいたソースコードと関連のライセンス条項、免責、および著作権表示をダウンロードするには、http://opensource.lge.comにアクセスしてください。

付属のリモコンでテレビを操作する

以下のボタンで、本機と接続されているテレビを操作してください。

ボタン	操作
⏻ (テレビ 電源)	テレビの電源をオン/オフします。
入力切換	テレビとテレビに接続されている機器との入力を切り換えます。
ミュート	テレビの音声を消音にします。
音量 +/–	テレビの音量を調節します。
チャンネル ∧/∨	テレビ チャンネルを切り換えます。

注意

本機に接続されているデバイスによって、ボタンの一部が動作しない場合もあります。

リモコンにお使いのテレビを設定する

付属のリモコンで、本機と接続されているテレビを操作することができます。以下のリストにお使いのテレビがある場合、メーカーコードを確認し、本機のリモコンに設定してください。

1. ⏻ (テレビ 電源) ボタンを押したままの状態で、 数字ボタンを使ってテレビの製造メーカーコードを押します (以下の表を参照)。

製造メーカー	コード番号
LG	1(初期設定)
シャープ	2, 3
東芝	4
パナソニック	5, 6
ソニー	7
日立	8
三菱	9

2. ⏻ (テレビ 電源) ボタンから手を放すと設定が完了します。

正しいメーカーコードを入力した後でも、お使いのテレビによっては、全てもしくは一部のボタンが動作しない場合があります。なお、リモコンの電池を交換した際に、メーカーコードが初期設定にリセットされることがあります。その場合は、お手数ですが、再度お使いのメーカーコードを設定してください。

ネットワークソフトウェアの更新

ネットワーク更新の通知

本機がブロードバンド回線のホームネットワークに接続されている場合は、適時パフォーマンスが向上した機能や追加機能を入手できるようにすることができます。利用可能な新しいソフトウェアがあり、本機がブロードバンド回線のホームネットワークに接続されている場合は、本機が次のようにして更新情報を通知します。

オプション 1:

1. 本機の電源を入れると、画面に更新メニューが表示されます。
2. </> で希望する項目を選び、決定(⦿) を押します。

画面の表示内容は実際と異なる場合があります。

[OK]	ソフトウェアの更新を開始します。
[取り消し]	更新メニューを終了し、電源を切ります。

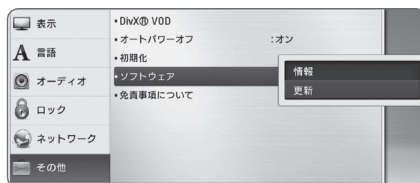
オプション 2:

アップデートサーバーに利用可能なソフトウェアの更新があると、「ソフトウェアの更新」アイコンがホームメニューの下部に表示されます。青色(青) のボタンを押して更新手続きを開始します。

ソフトウェアの更新

製品の動作機能を向上させたり、新しい機能を追加するために、最新のソフトウェアにて本機を更新することができます。本機をソフトウェア更新サーバーに直接接続することで、ソフトウェアの更新ができます。

> **注意**
> - お使いのプレーヤーのソフトウェアを更新する前に、プレーヤーから任意のディスクとUSBデバイスを取り外します。
> - お使いのプレーヤーのソフトウェアを更新する前に、プレーヤーの電源をオフにし、その後オンに戻します。
> - **ソフトウェアの更新手順中に、プレーヤーの電源を切ったり、AC電源を切断したり、いずれかボタンを押してはいけません。**
> - 更新をキャンセルする場合は、電源をオフにして、安定の実証のためにそれをオンにします。
> - この装置は、以前のソフトウェアバージョンに更新することはできません。

1. ネットワーク接続と設定を確認します。(18ページ参照)
2. [設定] メニューから [ソフトウェア] 項目を選択し、決定(⦿) を押します。
3. [更新］項目を選択して、決定(⦿) を押します。

本機が最新の更新状態であるか確認します。

> **注意**
> - 更新プロセスの終了を確認しながら、決定（⦿）を押します。
> - 利用可能なアップデートがない場合、「更新が検出されません。」とメッセージが表示されます。[ホームメニュー]に戻るには、決定（⦿）を押します。

4. 新しいバージョンがある場合は、「ダウンロードしますか？」のメッセージが表示されます。
5. [OK] を選択して更新ファイルをダウンロードします。([取り消し] を選択すると更新が終了します）
6. 本機は、サーバーから最新の更新ファイルのダウンロードを開始します。
(ホームネットワークの状態によってはダウンロードに数分かかります。）
7. ダウンロードが完了すると、メッセージが表示されます。「ダウンロードが完了しました。アップデートしますか？」のメッセージが表示されます。
8. [OK］を選択して更新を開始してください。([取り消し] を選択すると更新を終了し、ダウンロードしたファイルを利用することはできません。次回にソフトウェアを更新する場合は、ソフトウェアの更新手順を初めから再度行ってください。

> **注意**
>
> ソフトウェアの更新中に電源を切らないでください。

> **注意**
>
> ソフトウェアに、ドライバのアップデートが含まれている場合は、ディスクトレイは、プロセス中に開くことができます。

9. 更新が完了すると、数秒のうちに、自動的に電源が切れます。
10. 電源を入れ直してください。システムが新しいバージョンで動作します。

> **注意**
>
> ソフトウェア·のアップデート機能は、インターネット環境によっては正しく動作しない場合があります。
> このケースでは、承認されたLGエレクトロニクスのサービスセンターから最新のソフトウェアを入手でき、その後本機を更新します。ページ 49の「カスタマサポート」をご参照ください。

Nero MediaHome 4 Essentialsについて

Nero MediaHome 4 Essentialsは、DLNA互換のデジタル メディア サーバーとして、PCに保存されている映画、音楽、写真ファイルをプレーヤーと共有するためのソフトウェアです。

> **注意**
>
> - Nero MediaHome4 EssentialsのCD-ROMは、PC向けに設計されており、本機やPC以外の製品では使えません。
> - 付属のNero MediaHome4 EssentialsのCD-ROMは、本機がファイルやフォルダを共有するためにのみカスタマイズされたソフトウェア版です。
> - 付属のNero MediaHome4 Essentialsのソフトウェアは、次の機能をサポートしていません。トランスコーディング、リモートUI、テレビのコントロール、インターネットサービスとAppleのiTunes。
> - 付属のNero MediaHome4 Essentialsのソフトウェアはwww.lg.com/jpでダウンロードすることができます。
> - このマニュアルでは、例として、Nero MediaHome4 Essentialsの英語版での操作を説明しています。お使いの言語バージョンの実際の操作を参照して説明に従ってください。

システム要件

Windows パソコン

- Windows® XP（SP2以上）、Windows Vista®（Service Pack不要）、Windows® 7 (Service Pack不要)、Windows® XP MediaCenter Edition2005 (Service Pack 2以上)、Windows Server® 2003
- Windows Vista® 64ビット版
(アプリケーションは32ビット モードで稼動)
- Windows 7® 64ビット版 (アプリケーションは32ビット モードで稼動)
- ハードディスク空き容量Nero MediaHomeスタンドアロンの標準インストールでは、200 MBのハードディスク空き容量
- 1.2 GHz Intel(R) Pentium(R) III または AMD Sempron 2200+プロセッサー

- メモリ256 MB RAM
- 最低32 MBのビデオ メモリーを搭載したグラフィックス カードは、800 x 600ピクセル以上の解像度、16ビットカラー設定
- Windows® Internet Explorer® 6.0 以上
- DirectX® 9.0c revision 30 (2006年8月)以上
- ネットワーク環境100 Mb Ethernet、WLAN

Macintosh

- Mac OS X 10.5 (Leopard) または10.6 (Snow Leopard)
- Intel x86プロセッサを搭載したMacintosh PC
- ハードディスク空き容量:Nero MediaHome スタンドアロンの標準インストールでは、200 MBのハードディスク空き容量
- メモリ256 MB RAM

Nero MediaHome 4 Essentialsのインストール

Windows

PCを起動し、CD - ROMドライブに付属のCD- ROMディスクを挿入します。インストール ウィザードにより、インストールが迅速かつシンプルに行えます。MediaHome 4 Essentialsをインストールするには、以下の手順に従ってください。

1. すべてのMicrosoft Windowsプログラムを閉じて、実行されている可能性のあるアンチウイルス ソフトウェアを終了します。
2. 付属のCD- ROMディスクをCD - ROMドライブに挿入します。
3. [Nero MediaHome 4 Essentials]をクリックします。
4. [Run]をクリックしてインストールを開始します。
5. [Nero MediaHome 4 Essentials]をクリックします。
   インストールの準備が行われ、インストール ウィザードが表示されます。
6. [Next]ボタンをクリックすると、シリアル番号入力画面が表示されます。
   [Next]をクリックして、次のステップに進みます。
7. 利用規約をお読みになり、承諾する場合は、[I accept the License Conditions] チェックボックスをクリックして、[Next] をクリックします。
8. [Typical]をクリックして [Next] をクリックします。インストール プロセスが開始します。
9. データの匿名のコレクションに参加するには、チェックボックスを選択し、[Next]ボタンをクリックします。
10. [Exit]ボタンをクリックして、インストールを終了します。

Mac OS X

1. お使いのPCを起動し、
   PCのCD-ROMドライブに付属のCD-ROMディスクを挿入します。
2. CD-ROMドライブをブラウズし、「MediaHome_4_Essentials_MAC」フォルダを開きます。
3. 「NeroMediaHome.dmg」画像ファイルをダブルクリックします。Nero MediaHomeのウィンドウが開きます。
4. Nero MediaHomeのウィンドウで、どちらかのウィンドウ内のアプリケーションフォルダか他の任意の場所にNero MediaHomeのアイコンをドラッグします。
5. それをドラッグした場所でNero MediaHomeのアイコンをダブルクリックすることによってアプリケーションを起動することができます。

共有ファイルとフォルダー

本機で再生するには、お使いのPCで映画、音楽、または写真などのコンテンツが含まれるフォルダーを共有する必要があります。

このパートでは、PC上の共有フォルダを選択するための手順を説明します。

1. 「Nero MediaHome 4Essentials」アイコンをダブルクリックします。
2. 左側の [Network] アイコンをクリックし、[Network name] フィールドにネットワーク名を定義します。入力したネットワーク名がプレーヤーで認識されます。
3. 左側の [Shares] アイコンをクリックします。
4. [Shares] 画面の [Local Folders] をクリックします。
5. [Add] アイコンをクリックして、[BrowseFolder]ウィンドウを開きます。
6. 共有したいファイルを含むフォルダを選択します。選択したフォルダが共有フォルダの一覧に追加されます。
7. [Start Server] アイコンをクリックして、サーバーを開始します。

! 注意

- 共有フォルダまたはファイルが本機に表示されない場合は、[ローカルフォルダ]タブでフォルダをクリックし、[再スキャンフォルダ]の [より多く]ボタンをクリックします。
- 詳しい情報およびソフトウェアツールについては、www.nero.comをご覧ください。

エリアコード一覧

以下のリストからエリアコードを選択してください。

エリア	コード	エリア	コード	エリア	コード	エリア	コード
アフガニスタン	AF	フィジー	FJ	モナコ	MC	シンガポール	SG
アルゼンチン	AR	フィンランド	FI	モンゴル	MN	スロバキア共和国	SK
オーストラリア	AU	フランス	FR	モロッコ	MA	スロベニア	SI
オーストリア	AT	ドイツ	DE	ネパール	NP	南アフリカ	ZA
ベルギー	BE	英国	GB	オランダ	NL	韓国	KR
ブータン	BT	ギリシャ	GR	オランダ領アンティル諸島	AN	スペイン	ES
ボリビア	BO	グリーンランド	GL	ニュージーランド	NZ	スリランカ	LK
ブラジル	BR	香港	HK	ナイジェリア	NG	スウェーデン	SE
カンボジア	KH	ハンガリー	HU	ノルウェー	NO	スイス	CH
カナダ	CA	インド	IN	オマーン	OM	台湾	TW
チリ	CL	インドネシア	ID	パキスタン	PK	タイ	TH
中国	CN	イスラエル	IL	パナマ	PA	トルコ	TR
コロンビア	CO	イタリア	IT	パラグアイ	PY	ウガンダ	UG
コンゴ	CG	ジャマイカ	JM	フィリピン	PH	ウクライナ	UA
コスタリカ	CR	日本	JP	ポーランド	PL	アメリカ合衆国	US
クロアチア	HR	ケニア	KE	ポルトガル	PT	ウルグアイ	UY
チェコ共和国	CZ	クウェート	KW	ルーマニア	RO	ウズベキスタン	UZ
デンマーク	DK	リビア	LY	ロシア 連邦	RU	ベトナム	VN
エクアドル	EC	ルクセンブルク	LU	サウジアラビア	SA	ジンバブエ	ZW
エジプト	EG	マレーシア	MY	セネガル	SN		
エルサルバドル	SV	モルディブ諸島	MV				
エチオピア	ET	メキシコ	MX				

言語コード一覧

以下のリストからご希望の言語コードを確認し、初期設定に入力してください。
[ディスク音]、[ディスク字幕言語]、[ディスクメニュー言語]

言語	コード	言語	コード	言語	コード	言語	コード
アファル語	6565	フランス語	7082	リトアニア語	7684	シンド語	8368
アフリカーンス語	6570	フリジア語	7089	マケドニア語	7775	シンハリ語	8373
アルバニア語	8381	ガリシア語	7176	マダガスカル語	7771	スロバキア語	8375
アムハラ語	6577	グルジア語	7565	マライ語	7783	スロベニア語	8376
アラブ語	6582	イツ語	6869	マラヤーラム語	7776	スペイン語	6983
アルメニア語	7289	ギリシャ語	6976	マオリ語	7773	スーダン語	8385
アッサム語	6583	グリーンランド語	7576	マラッタ語	7782	スワヒリ語	8387
アイマラ語	6588	グアラニー語	7178	モルダビア語	7779	スウェーデン語	8386
アゼルバイジャン語	6590	グジャラト語	7185	モンゴル語	7778	タガログ語	8476
バシキール語	6665	ハウサ語	7265	ナウル語	7865	タジク語	8471
バスク語	6985	ヘブライ語	7387	ネパール語	7869	タミール語	8465
ベンガル語	6678	ヒンディー語	7273	ノルウェー語	7879	テルグ語	8469
ブータン語	6890	ハンガリー語	7285	オーリヤ語	7982	タイ語	8472
ビハール語	6672	アイスランド語	7383	パンジャブ語	8065	トンガ語	8479
デルターニュ語	6682	インドネシア語	7378	パシュト語	8083	トルコ語	8482
ブルガリア語	6671	インターリングア語	7365	ペルシャ語	7065	トルクメン語	8475
ビルマ語	7789	アイルランド語	7165	ポーランド語	8076	トゥィ語	8487
ベロルシア語	6669	イタリア語	7384	ポルトガル語	8084	ウクライナ語	8575
中国語	9072	日本語	7465	ケチュア語	8185	ウルドゥー語	8582
クロアチア語	7282	カンナダ語	7578	ラエト語	8277	ウズベク語	8590
チェコ語	6783	カシミール語	7583	ルーマニア語	8279	ベトナム語	8673
デンマーク語	6865	カザフ語	7575	ロシア語	8285	ボラビュック語	8679
オランダ語	7876	キルギス語	7589	サモア語	8377	ウェールズ語	6789
英語	6978	韓国語	7579	サンスクリット語	8365	ウォロフ語	8779
エスペラント語	6979	クルド語	7585	スコットランド高地ゲール語	7168	ホサ語	8872
エストニア語	6984	ラオス語	7679	セルビア語	8382	イディッシュ語	7473
フェロー語	7079	ラテン語	7665	セルボ クロアチア語	8372	ヨルバ語	8979
フィジー語	7074	ラトビア語	7686	ショナ語	8378	ズールー語	9085
フィンランド語	7073	リンガラ語	7678				

商標およびライセンス

Blu-ray Disc™, Blu-ray™, Blu-ray 3D™, BD-Live™, BONUSVIEW™ およびこれらのロゴは、Blu-ray Disc Associationの商標です。

「DVD ロゴ」は、DVD フォーマットロゴライセンス (株) の商標です。

JavaはOracleおよび/またはその関連会社の商標です。

HDMI、HDMIのロゴ、およびHigh-DefinitionMultimedia Interfaceは、HDMI licensing LLCの商標または登録商標です。

「x.v.Color」はソニー株式会社の商標です。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。ドルビー及びダブル D 記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

U.S.のライセンスの下に製造されています。特許番号5,451,942; 5,956,674; 5,974,380;5,978,762; 6,226,616; 6,487,535;7,212,872;7,333,929; 7,392,195; 7,272,567 および他のU.S. および世界中の特許発行および保留DTSおよびそのシンボルはDTS, Inの登録商標です。また、DTS-HD、DTS-HD Master Audio、およびDTSのロゴは、DTS, Inの商標です。製品にはソフトウェアが含まれています。© DTS, Inc. All Rights Reserved.

DLNA®、DLNAロゴおよびDLNA CERTIFIED®は、Digital Living Network Allianceの商標、サービスマーク、または認証マークです。

Wi-Fi CERTIFIEDロゴはWi-Fi Allianceの認定マークです。

Wi-Fi Protected Setupのマークは、Wi-Fi Allianceの商標です。

「AVCHD」および「 AVCHD」ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。

「AVCREC」および「AVCREC」ロゴはブルーレイディスク協会の商標です。

DivX®、DivX Certified®、および関連ロゴはDivX, Incの商標であり、ライセンスの下に使用されます。

グレースノート®は、グレースノートのロゴとロゴタイプ、および以下の「Gracenoteによって供給される」ロゴは、米国および/またはその他の国におけるGracenote,Inc.の登録商標または商標です。

音楽認識テクノロジーおよび関連データはGracenote®によって提供されています。

コンテンツの部分の著作権は©グレースノートまたはそのプロバイダです。

グレースノート®エンドユーザーライセンス契約

このアプリケーションまたはデバイスは、カリフォルニア州エメリービルのグレースノート株式会社（以下「Gracenote」）からのソフトウェアが含まれています。グレースノートからのソフトウェア（「グレースノートソフトウェア」）のソフトウェアは、このアプリケーションが、ディスクおよび/またはファイルの識別を行うことを可能にし、オンラインサーバーからの名前、アーティスト、トラック、タイトル情報（以下「Gracenoteデータ」）を含む、または埋め込まれた音楽関連情報を入手することができるデータベース（以下総称して、「Gracenoteサーバー」）他の機能を実行します。このアプリケーションまたはデバイスの意図したエンドユーザー機能のみにより、Gracenoteデータを使用することができます。

あなたは、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェアを使用し、個人的な非商業的目的のみのためにGracenoteサーバーを使用することに同意します。あなたは、Gracenoteソフトウェアまたは第三者にGracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。あなたは本契約で明示的に許可されている場合を除き、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、またはGracenoteサーバーを使用したり、悪用しないことに同意します。

これらの制限事項に違反した場合、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを使用についての、非排他的ライセンスは終了することに同意します。ライセンスが終了した場合は、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、Gracenoteサーバーのあらゆる使用を中止することに同意するものとします。Gracenoteはすべての所有権を含むGracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバー内のすべての権利を留保します。いかなる状況においても、Gracenoteは、あなたが提供するあらゆる情報に対して、損害賠償責任を負いません。あなたは、Gracenote, Incが直接自身の名前であなたに対して本契約に基づく権利を行使することに同意します。

Gracenoteのサービスは統計目的でクエリを追跡するために独自の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子の目的は、Gracenoteのサービスがあなたが誰か知ることなくクエリをカウントできるようにすることです。詳細については、Gracenoteのサービスに関するGracenoteプライバシーポリシーのためのWebページをご参照ください。

GracenoteソフトウェアとGracenoteデータの各項目はライセンスされています。Gracenoteは、Gracenoteサーバー内からの任意のGracenoteデータの正確性に関して、いかなる表明または保証、明示または黙示を行いません。GracenoteはGracenoteサーバーからデータを削除したり、またはGracenoteが十分とみなす何らかの理由によりデータのカテゴリを変更する権利を留保しています。GracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーがエラーがないかまたはGracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーの機能の中断がないという保証はありません。Gracenoteは、Gracenoteが将来新しい拡張または追加のデータタイプまたはカテゴリを提供する義務を負いません。また、いつでも自由にそのサービスを中止できます。

Gracenoteは、すべての保証、明示または黙示を含むがそれに制限のない、商品性の黙示の保証、特定目的への適合性、および非侵害に責任を負いません。Gracenoteは、GracenoteソフトウェアまたはいかなるGracenoteサーバーの使用から得られる結果をも保証いたしません。いかなる場合においても、結果的損害または偶発的損害に対するまたは逸失利益もしくは収入の消失について、Gracenoteは責任を負いません。

Cinavia からのお知らせ

この製品はCinavia技術を利用して、商用製作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。

Cinavia技術に関する詳細情報は、http://www.cinavia.comのCinaviaオンラインお客様センターで提供されています。Cinaviaについての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center. P.O.Box 86851, San Diego, CA, 92138, USAまではがきを郵送してください。

この製品はVerance Corporationのライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国第7369677号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。CinaviaはVerance Corporationの商標です。Copyright 2004-2010 Verence Corporation.すべての権利はVeranceが保有しています。

オーディオ出力の仕様

端子と設定 ＼ 種類	アナログ出力 2CH	光 (DIGITAL AUDIO OUT)*3		
		PCM ステレオ	DTS 再エンコード *4	ビットストリーム
Dolby Digital	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	Dolby Digital
Dolby Digital Plus	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	Dolby Digital
Dolby TrueHD	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	Dolby Digital
DTS	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	DTS
DTS-HD	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	DTS
Linear PCM 2ch	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	PCM 2ch
Linear PCM 5.1ch	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	PCM 2ch
Linear PCM 7.1ch	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	PCM 2ch

端子と設定 ＼ 種類	HDMI OUT			
	PCM ステレオ	PCM マルチチャンネル	DTS S再エンコード *4	ビットストリーム*1 *2
Dolby Digital	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	Dolby Digital
Dolby Digital Plus	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	Dolby Digital Plus
Dolby TrueHD	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	Dolby TrueHD
DTS	PCM 2ch	PCM 5.1ch	DTS	DTS
DTS-HD	PCM 2ch	PCM 7.1ch	DTS	DTS-HD
Linear PCM 2ch	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	Linear PCM 2ch
Linear PCM 5.1ch	PCM 2ch	PCM 5.1ch	DTS	Linear PCM 5.1ch
Linear PCM 7.1ch	PCM 2ch	PCM 7.1ch	DTS	Linear PCM 7.1ch

6

付録

*1 [デジタル出力]オプションが[ビットストリーム]に設定されている場合は、副音声、対話の音声が出力ビットストリームに含まれていない可能性があります。
（LPCMコーデックは、常に副音声と対話の音声が含まれています。）

*2 [デジタル出力]オプションは[ビットストリーム]に設定されていても､接続されているHDMIデバイスのデコード能力に応じて本機は自動的にHDMIオーディオを選択します。

*3 PCM オーディオ出力では、デジタル音声出力端子からのサンプリング周波数は96 kHzに制限されています。

*4 [HDMI] または [デジタル出力] 項目が [DTS再エンコード] に設定されていると、オーディオ出力は 48 kHz と5.1 Ch に制限されます。[HDMI] または [デジタル出力] 項目が[DTS再エンコード] に設定されていると、DTS 再エンコード オーディオはBD-ROMディスクから出力され、元のオーディオはその他のディスク（[ビットストリーム]など)に出力されます。

- HDMI OUT端子が高速HDMI™Cable とドルビーデジタルプラス/ドルビーTrueHDのテレビに接続し､HDMIジャック出力端子から出力されている場合は､デジタル音声出力端子は（HDMIおよびデジタルオーディオ出力の時）｢PCM2ch｣に制限されています。

- オーディオは、オーディオCDの再生の間、MP3/WMAファイルのPCM48 kHz/16ビットPCMと44.1kHz/16ビットとして出力されます。
- アンプ（またはAVレシーバー）は[設定]メニューのオプションで[デジタル出力]と[サンプリング周波数] を使用して受け入れるデジタル·オーディオ出力および最大サンプリング周波数を選択する必要があります。（27ページを参照）。
- [デジタル出力]オプションが[ビットストリーム]に設定されている場合、デジタルオーディオの接続で（DIGITAL AUDIO OUTまたはHDMI OUT）、BD-ROMのディスクのメニューボタンの音を聞くことはできません。
- デジタル出力のオーディオ形式が、受信機の性能と一致しない場合は、受信機はノイズ音を再生するか全く音がしません。
- デジタルマルチチャンネルデコーダが装備されている場合のみ、デジタル接続を介して、マルチチャネルデジタルサラウンドサウンドを再生することができます。

仕様

一般	
電源	AC 100 V, 50/60 Hz
消費電力	12 W
外形寸法 (幅 x 高さ x 奥行)	約 430 x 41 x 197 mm
本体質量	約1.6kg
許容周囲温度	5 °C - 35 °C
許容相対湿度	5 % - 90 %

出力	
映像出力	1.0 V (p-p)、75 Ω、ピンジャック 1系統
HDMI 出力 (映像/音声)	19ピン(タイプA、HDMI™ Connector)
2CH 音声出力	2.0 Vrms (1 kHz, 0 dB)、600 Ω、ピンジャック (L、R) 1系統
デジタル音声出力 (光) 端子	3 V (p-p)、光コネクター 1系統

システム	
レーザー	半導体レーザー
波長	405 nm / 650 nm
信号システム	標準 NTSC カラーテレビシステム
周波数特性	20 Hz to 20 kHz (48 kHz, 96 kHz, 192 kHz サンプリング)
S/N比	90 dB 以上(アナログ出力端子コネクタに限る)
全高調波歪率	0.02 % 未満
ダイナミックレンジ	95 dB 以上
LAN ポート	Ethernet コネクタ 1系統、10BASE-T/100BASE-TX
無線LAN(内蔵アンテナ)	IEEE 802.11b/g/n (2.4GHz 帯)
バス電源(USB)	DC 5 V ⎓ 500 mA

- 設計や仕様は予告なしに変更する場合があります。

お手入れについて

機器の取り扱い

機器を輸送するとき

製品の出荷カートンと梱包材は保管してください。本機を輸送する必要が生じたときは、破損を避けるために、工場出荷時に梱包されていたように再梱包してください。

機器のお手入れ

本機のお手入れには、乾いた柔らかい布を使用してください。表面がかなり汚れている場合は、薄めた洗剤液で軽く湿らせた柔らかい布で拭き取ってください。アルコールやベンジン、シンナーなどの強い溶剤は、機器の表面を傷つける恐れがありますので使用しないでください。

外部表面をクリーンな状態に保つ には

- 本機のそばで殺虫剤スプレーなどの揮発性の液体を使用しないでください。
- 強く拭き取ると表面を傷つけることがあります。
- ゴムやプラスチック製品を長時間本機に触れたままにしないでください。

機器のメンテナンス

光ピックアップレンズやディスクドライブ部分が汚れたり消耗したりすると、画質が低下する可能性があります。詳細についてはカスタマーサービスセンターにお問い合わせください。

ディスクについてのご注意

ディスクのお取り扱い

- ディスクの再生面を手で触れず、指紋がつかないように、ディスクの両端を持ってください。
- 再生面には紙やテープなどを絶対に貼らないでください。
- ディスクのご使用後はケースに入れて保管してください。
- ディスクを直射日光に当たる所や温度が高い所には置かないでください
- ディスクを直射日光の当たる車内などに放置ないでください。

ディスクのお手入れ

指紋や誇りによるディスクの汚れは、画質の乱れや音質の低下の原因になります。再生する前に、乾いた柔らかい布でディスクの中央から外側に向かって拭いてください。

アルコールやベンジン、シンナー、市販のクリーナー、または古いビニールレコード用の静電気防止スプレーなどの強い溶剤は使用しないでください。

ネットワーク サービスに関する重要な情報

第三者によって、または第三者を通じて（それぞれ以下「サービス プロバイダ」といいます）提供されるか、または利用可能となる、すべての情報、データ、ドキュメント、通信、ダウンロード、ファイル、テキスト、画像、写真、グラフィックス、ビデオ、ウェブキャスト、出版物、ツール、リソース、ソフトウェア、コード、プログラム、アプレット、ウィジェット、アプリケーション、プロダクト、その他のコンテンツ（以下「コンテンツ」といいます）、およびすべてのサービスと提供物（以下「サービス」といいます）に関する責任は、それを提供するサービス プロバイダ側にあります。

本機を通じてサービス プロバイダが提供するコンテンツおよびサービスの利用可能性およびアクセス手段は、事前の通知なく変更される場合があります。これには、コンテンツまたはサービスの全部または一部の一時中断、削除または停止が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

コンテンツまたはサービスに関するすべての質問または問題については、サービス プロバイダのWebサイトで最新の情報を参照するものとします。当社は、コンテンツまたはサービスに関するお客様サービスの責任または法的義務を一切負いません。コンテンツまたはサービスに関するいかなる質問または要望も、それぞれのコンテンツおよびサービス プロバイダに直接連絡する必要があります。

当社は、サービス プロバイダが提供するいかなるコンテンツまたはサービスにも責任を負わず、かかるコンテンツまたはサービスのいかなる変更、削除、停止にも責任を負わず、かかるコンテンツまたはサービスの利用可能性またはアクセス方法を保証または確約しないことにご 注意ください。

修理の受付・操作・故障に関するお問合せ窓口

LG Electronics Japan (株) カスタマーサポートセンター

(フリーダイヤル) **0120-813-023**

携帯電話・PHSからも御利用いただけます

受付時間　　月～金曜日　9:00～20:00
土・日曜日　祝日9:00～18:00（年末年始を除く）
IP電話など、上記番号がご利用いただけない場合
TEL03-5675-7323　FAX03-5675-7335

修理に関するご案内

「故障かな?」と思ったら、取扱説明書を再度確認していただき、直らない場合には弊社まで修理をご依頼ください。

保証書に「出張修理」と明記してあるものや、冷蔵庫・洗濯機・エアコン・大型テレビなどの大型家電製品は出張修理をおこないます。
弊社カスタマーセンターまでご依頼ください。
<持込修理依頼方法>
お買上げの販売店様に製品を持込んでいただくか、カスタマーサポートセンターまでご連絡ねがいます。

〒107-8512　東京都港区赤坂2-17-22
赤坂ツインタワー本館9階